

第四次鳥羽市総合計画後期基本計画

提 言 書

平成 17 年 7 月

鳥羽市まちづくり提言市民会議



# はじめに

この提言は、総合計画の策定過程に市民が積極的に参加し、市民と行政が認識を共有するために設置された、「鳥羽市まちづくり提言市民会議」において、約5か月にわたり議論を積み重ねた成果を取りまとめたものです。

この提言の目的は、市民が日常生活の中で抱えている興味・関心や問題意識をもとに、最近5年間の鳥羽市を評価することにあります。そのため、市民が実感できる評価尺度をどのようにして設定するかが大きな課題となりました。そこで私たち参加メンバーは、長時間の議論を重ねる中で、今後の鳥羽がどのような方向に進むべきかという視点から、各分野についていくつもの“ものさし”を設定しました。そして、今の鳥羽が“ものさし”に照らしてどの段階にあるかを検討し、数値化する作業を行いました。

この提言会議は、事務事業評価のような網羅的・客観的な評価を目指しているわけではなく、あくまでも市民の関心や問題意識に即した評価を目指しました。そこで、市民から委員を公募するとともに、関係諸団体や行政からメンバーを募り、テーマ別に6つのグループを設けました。また、各テーマに関係の深い三重大学の6名の教員もアドバイザーとして議論に参加しました。参加メンバーは互いに対等の立場で自由に発言し、認識を共有しながら評価に当たりました。その結果、市民の生の声を最大限に反映し、鳥羽市の課題を的確に捉えた質の高い評価となったと自負しています。

評価尺度として設定した、市民の実感にもとづく“ものさし”の点数には、高得点のものもあれば、低い評価にとどまっているものもあります。高得点のものは、鳥羽の強みや魅力を示すものであり、今後さらに力を入れることが求められます。一方、現在は低い評価に甘んじている項目は、期待度が高いため今後さらに努力してほしいというメッセージが込められています。市民の実感にもとづく“ものさし”の点数が上がれば、必然的に市政そのものに対する満足度が上がると考えられます。第4次鳥羽市総合計画後期基本計画においては、“ものさし”の点数が上がるような施策をできるだけ盛り込むことが望まれると同時に、“ものさし”についての定期的な検証と、継続的な市民参加が不可欠です。

今回の「鳥羽市まちづくり提言市民会議」が、今後の鳥羽市における協働の取り組みを押し進めるきっかけになることを期待しています。

平成17年7月

鳥羽市まちづくり提言市民会議

座長 三重大学人文学部 助教授 鹿嶋 洋

# 目 次

## はじめに

### 1．鳥羽市まちづくり提言市民会議からの提言

(1) 「幸せとふれあい」(保健・福祉分野) .....	2
(2) 「潤いと安心」(環境・安全分野) .....	5
(3) 「快適と魅力」(都市基盤・生活環境分野) .....	9
(4) 「豊かな心と創造性」(教育・文化分野) .....	12
(5) 「活力と魅力」(産業・経済分野) .....	15
(6) 「計画と推進」(行財政分野) .....	19

### 2．鳥羽市まちづくり提言市民会議

(1) 組織・構成 .....	23
(2) 目 的 .....	23
(3) 内容・期間 .....	23
市民の視点による鳥羽市の評価 .....	24
鳥羽市を良くするための提言 .....	24
まちづくり提言市民会議の成果物の提示による市民意見 .....	24
まちづくりフォーラム(仮称)の開催 .....	26
(4) まちづくり提言市民会議の全体の流れ .....	27
(5) まちづくり提言市民会議の開催経過 .....	29
(6) まちづくり提言市民会議委員名簿 .....	30
(7) 事務局 .....	32

### 3．鳥羽市まちづくり提言市民会議の成果(提言資料)

(1) 「幸せとふれあい」(保健・福祉分野) .....	35
(2) 「潤いと安心」(環境・安全分野) .....	38
(3) 「快適と魅力」(都市基盤・生活環境分野) .....	42
(4) 「豊かな心と創造性」(教育・文化分野) .....	45
(5) 「活力と魅力」(産業・経済分野) .....	48
(6) 「計画と推進」(行財政分野) .....	52

# 1 . 鳥羽市まちづくり提言市民会議からの提言

第四次鳥羽市総合計画後期基本計画の策定にあたって、鳥羽市まちづくり提言市民会議は、鳥羽市長に対して以下の2つの提言項目に沿って提言いたします。

分野別の具体的な提言内容については、P2～P22にお示しいたします。

## 提言項目 1 最近5年の鳥羽市を振り返った、まちの通信簿

「保健・福祉」「環境・安全」「都市基盤・生活環境」「文化・教育」「産業・経済」「交流・行財政・自治」の6分野において、最近5年を振り返り、市民の実感にもとづく評価尺度“ものさし”を設定して、市民の視点からまちの通信簿をつけました。

“ものさし”の点数付けは、まちづくり提言市民会議において、「最重要」「重要」の“ものさし”を重点的に行いました。「ふつう」の“ものさし”については、点数付けをしておりませんが、「最重要」「重要」と同様に市民が関心のある大切な指標には変わりありません。

## 提言項目 2 これからの5年で、まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

市民の実感にもとづく“ものさし”の点数が上がった分だけ、市民満足度が向上すると考えることができ、今後5年間でその“ものさし”の点数を上げるためのアイデアをみんなで出し合いました。

「幸せとふれあい」(保健・福祉分野)

(1) まちの通信簿

区分		ものさしワード	通信簿	
			点	採点理由
最 重 要	1	『こころともののバリアフリー』度	2.5 (2.69)	・進んできているが場所も意識もまだまだ全体に広がってない。
	2	『いつでも身近で受診できる』度	2.0 (2.35)	・地域の医師の存在ありがたく平日はかかりやすいが、休日、夜間の対応と入院できないのが不安。
	3	『病院・サービスの場への交通手段がある』度	2.5 (2.46)	・送迎サービスがあるがボランティアで制約もあり急なときに利用できない。公共交通は絶対的に不足している。
	4	『してほしいことができているよ』度 (保健・福祉サービス)	3.0 (2.90)	・利用者の満足感はあると思うが、利用が偏っていたり切り捨てられていたりする。
	5	『保健・医療・福祉がつながり相談ごと解決しやすい』度	3.0 (2.86)	・いくつかの相談窓口で対応はできているが、制度の面や窓口間のつながり(連携)は十分でない。
	6	『家族の負担・不安解消』度	2.0 (2.45)	・入所施設が少なく不安がある。しかし、相談、支援の充実によって在宅でも負担を少なくすることが大切である。
重 要	7	『障害者の社会参加』度	2.5 (2.68)	・理解が進み、参加は徐々に増えてきているが、十分な社会参加とはいえない。
	8	『災害要援護者(弱者)把握』度	2.0 (2.52)	・地域によっては集落単位での対応ができているが実際に対応できる体制かどうか問題。
	9	『医療情報受発信』度	3.0 (2.50)	・発信する側の情報は少ないが充実はされてきている。受信する側(利用者)の意識も必要。
	10	『魅力のある健康づくりメニュー』度	3.0 (3.14)	・メニューは充実してきているがひだまりだけでなく地域でのサービスがあると良い。
	11	『子どもを預けて両親おたすけ』度	2.0 (2.42)	・保育サービスなどは充実してきているが、急なときに(救急など)預かってもらえる場がない。
	12	『従事者がイキイキ仕事ができる』度	3.0 (2.43)	・市民の目からは生き生きしているように見える。ただし、困りごとを相談したり、計画してもらえたりといったことが必要。
ふ っ う	13	『国保納得できる』度	(2.52)	
	14	『健康づくりサービスを受ける機会が身近にいっぱいある』度	(3.03)	
	15	『子どもが減ってもちゃんと対応する』度	(3.03)	

上段：当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)

下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

## (2) まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

### 1 『ここらともものバリアフリー』度 【通信簿 2.5】

- ・実際に困っている人の声、希望を聞く。
- ・障害者福祉計画が策定されたら各地区別説明会などを行う。

### 2 『いつでも身近で受診できる』度 【通信簿 2.0】

- ・医師会等とのタイアップにより、夜間診療体制（輪番体制など）を確立する。
- ・市内の開業医に休日、夜間を当番で担当してもらう。
- ・通院介助などの有償ボランティアの活用。
- ・移動診療所。

### 3 『病院・サービスの場合への交通手段がある』度 【通信簿 2.5】

- ・地域ごとにボランティアグループを創っていく。（有償ボランティア）
- ・福祉循環バスができる。
- ・ボランティア貯金：ボランティアでポイントをため、将来そのポイントを使ってサービスを受ける。
- ・タウンモビリティの検討。

### 4 『してほしいことができているよ』度（保健・福祉サービス） 【通信簿 3.0】

- ・実際に利用している人の声を聞く（満足度）。

### 5 『保健・医療・福祉がつながり相談ごと解決しやすい』度 【通信簿 3.0】

- ・保健・福祉の両方に詳しいスペシャリストを養成し配置する。
- ・コンサルテーション：各々の専門職からの説明（教示）があり、横のつながりができる。

### 6 『家族の負担・不安解消』度 【通信簿 2.0】

- ・福祉総合相談所。
- ・介護者支援サービスの充実（介護方法、情報交流の場、慰労事業など）
- ・小学校区（又は中学校区）で中心となる相談拠点がある。

### 7 『障害者の社会参加』度 【通信簿 2.5】

- ・障害にかかわらず行ける授産所が増える。
- ・作品、作業が多くの人にふれる者で認められるものがあると思う。
- ・障害者受け入れ企業には何らかの得点を付与。
- ・行事等では主催者側が参加の配慮をする。

8 『災害要援護者(弱者)把握』度 【通信簿 2.0】

- ・地区別マニュアルの作成。
- ・災害要援護の存在を知っている人が、それを伝えることができる。(身近に)
- ・講習を各地区でする。救急とか、車いすの押し方とか。
- ・定期的な災害訓練をして地区での把握を進める。

9 『医療情報受発信』度 【通信簿 3.0】

- ・医療機関ごとの年間予定表を作成し、全戸配布する。

10 『魅力のある健康づくりメニュー』度 【通信簿 3.0】

- ・市民が希望するメニューや健康づくりに関するアイデアを募集する。
- ・出前の健康教室を増やす。(健康御師を育てる)
- ・メニューの実戦に向けて地域に出向いた活動を粘り強くやっていく。

11 『子どもを預けて両親おたすけ』度 【通信簿 2.0】

- ・子育てサポーターが増え短期間(短時間)子どもを見てもらえる場が増える。
- ・市役所内での保育。(困った時のみ)

12 『従事者イキイキ仕事ができる』度 【通信簿 3.0】

- ・定期的な情報共有会みたいなものをつくる。



「潤いと安心」(環境・安全分野)

(1) まちの通信簿

区分		ものさしワード	通信簿	
			点	採点理由
最重要	1	『浜辺も道もまちもゴミ落ちてない』度	2.5 (2.73)	・まだまだポイ捨て多い。
	2	『ごみ減量・リサイクル』度	4.0 (3.50)	・リサイクル分別が良くなった。
	3	『「まち」「景観」みんなで関心持ってかかわり』度	2.5 (2.73)	・市民をまきこんだまちづくりをもっと推進。
	4	『ムダにお金を使わずまちづくり統一・調和』度	2.5 (3.50)	・市民参画による手づくりのまちづくりが進んでいない。
	5	『地震・津波 安全な場所 避難経路よく分かり』度	3.0 (2.73)	・周知が進みつつある。
	6	『防犯対策充実』度	3.0 (2.49)	・パトロールが増えつつある。
重要	7	『家庭もまちも浄化槽・下水道充実』度	2.0 (2.14)	・下水道、合併浄化槽の整備が進まない。
	8	『住民の意見を取り入れた公園の整備』度	3.0 (2.72)	・住民意見が反映され向上しつつある。
	9	『自然が多く残っている』度	3.5 (3.18)	・自然はまずまず残っている。今後の開発は景観に配慮が必要。
	10	『学校・公共施設耐震』度	2.0 (2.31)	・耐震化にお金がかかり、なかなか進まない。
	11	『自主防災組織充実』度	3.0 (3.00)	・組織の数は増えているが活動状況に地域差がある。
ふっとう	12	『処理施設充実』度	(2.39)	
	13	『し尿処理場クリーンイメージ』度	(2.69)	
	14	『海・川・水のキレイ』度	(1.84)	
	15	『離島の不便な環境衛生の解決』度	(2.41)	
	16	『調和のとれた開発』度	(2.71)	
	17	『自然を残した景観』度	(2.67)	
	18	『住民にとっても観光客にとっても良い景観』度	(2.72)	
	19	『広告物と電柱をなくしてまちなかスッキリ』度	(2.06)	
	20	『快適で憩いの場となる、行きたくなる公園』度	(2.79)	

区分	ものさしワード	通信簿	
		点	採点理由
2 1	『公園を手軽に自由に利用できる』度	(3.16)	
2 2	『海に触れられて住民も観光客も楽しめる』度	(2.48)	
2 3	『海辺のプロムナード広がり』度	(3.18)	
2 4	『マリントウン計画広く市民意見取り入れ』度	(1.94)	
2 5	『まちづくり地元の人でもにぎわう』度	(2.55)	
2 6	『バリアフリーや防音など住みたくなる住宅』度	(2.26)	
2 7	『安価な住宅地多く供給され』度	(2.25)	
2 8	『津波のハザードマップ周知』度	(2.81)	
2 9	『防災無線よく聞こえ』度	(2.83)	
3 0	『学校・地域で子ども達 安全に過ごせ』度	(3.24)	
3 1	『消費生活気軽に相談できる』度	(2.50)	

上段：当該グループで検討した結果の点（最重要、重要のみ採点、0.5 刻み）

下段：( ) 内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

## (2) まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

### 1 『浜辺も道もまちもゴミ落ちてない』度 【通信簿 2.5】

- ・4月からスタートしたゴミ拾いを発展させる。
- ・「みんなで清掃日」をもっとPRすることで行動する人を増やす。
- ・広い考えでは余りよいことではないと思いますが、営業の一環としてゴミを引き取ることはポイ捨てを少なくするのでは。(ガソリンスタンドなどのゴミ引き取りなど。ただしその先分別が必要)
- ・観光客のゴミ受付施設をつくる。
- ・地元住民以外の啓発。
- ・ポイ捨てしない標識を建てる。
- ・放置ゴミをそのままにしておかない。

### 2 『ごみ減量・リサイクル』度 【通信簿 4.0】

- ・環境教育やリサイクル教育施設をつくる。
- ・生ゴミのリサイクルを市内全域で取り組み。
- ・リサイクル当番を継続し、分別をより徹底を。
- ・粘りと信念を持った職員を配置する。

### 3 『「まち」「景観」みんなで関心持ってかかわり』度 【通信簿 2.5】

- ・市民参画プロジェクトをつくる。
- ・参加しやすい会議の仕組み。
- ・地元が動きましょ。参加しやすい体制をつくる。
- ・計画をわかりやすく住民に周知し、意見箱を設置。

### 4 『ムダにお金を使わずまちづくり統一・調和』度 【通信簿 2.5】

- ・コスト意識と公開を進める。
- ・市民全般の意見が聞ける手法を確立する。(公開、広報)
- ・条例をもっと市民に周知する。
- ・市民参加による統一したビジョンをつくる。

### 5 『地震・津波 安全な場所 避難経路よく分かり』度 【通信簿 3.0】

- ・看板等の充実
- ・「避難」看板等の充実。
- ・避難経路案内板の設置。
- ・看板や広報で周知する。
- ・避難地図を住民に配布する。
- ・これまでに配付された資料をよく見直すと結構書かれていることもあるので市民にわかりやすい資料づくりが必要。

6 『防犯対策充実』度 【通信簿 3.0】

- ・防犯灯の設置を多くする。
- ・防犯委員会の地域巡回をする。
- ・市民団体の育成。

7 『家庭もまちも浄化槽・下水道充実』度 【通信簿 2.0】

- ・補助と管理を充実させる。
- ・下水道が無理であれば地域をしぼって単独 合併に変更する方に補助を多く出す。(妙慶川流域など)
- ・地区別の合併処理浄化槽が普及する。
- ・個人浄化槽の検査済証を大きくして玄関等にはらせる。

8 『住民の意見を取り入れた公園の整備』度 【通信簿 3.0】

- ・鳥羽市全体の公園について意見を求める。

9 『自然が多く残っている』度 【通信簿 3.5】

- ・開発に対する条例の整備。
- ・景観に配慮した計画かどうかのチェック体制づくり。
- ・遊歩道の整備など自然を感じられる開発をする。

10 『学校・公共施設耐震』度 【通信簿 2.0】

- ・耐震化の状況を公開する。
- ・最低限の調査を進める。
- ・耐震工事に合わせて大規模改修をしようとするので多額のお金を必要とするのであって耐震診断時の補強計画だけを行えば費用も少なく多くの学校を耐震にできる。
- ・耐震に対する改修のみを早く。

11 『自主防災組織充実』度 【通信簿 3.0】

- ・各地域での勉強会の充実。
- ・地域活動の活性化支援。(講師派遣)
- ・活発な活動例を広く紹介する。

「快適と魅力」(都市基盤・生活環境分野)

(1) まちの通信簿

区分		ものさしワード	通信簿	
			点	採点理由
最 重 要	1	『まちづくりのものさしがよく分かる』度	2.0 (2.17)	・各種団体は活動しているが、集約されていないのが現状。 ・イメージがバラバラ、わからない。
	2	『まちなか景観まとまり』度	2.0 (2.41)	・一部分ではいい所もあるが、そこだけ。 ・バラバラ、統一されていない。
	3	『みなとにぎわい』度	2.0 (2.08)	・マリントウンに期待して賑わうためのものをつくろうという発想がない。 ・海沿いをなぜ駐車場にばかりするの。
	4	『海・川のきれい』度	2.0 (2.50)	・個人の生活排水が問題。 ・小さい川が汚い。汚い川の水を海が薄めてくれている。 ・頑張っている企業は頑張っている。規制基準があるから。でも現状だから辛い目に。
	5	『市営船経営見直し』度	1.5 (2.32)	・経営という点からは1点。 ・期待度大。
重 要	6	『市民が憩える場所がいっぱいある』度	3.0 (2.62)	・場所はそれなりにある。利用者の問題。
	7	『とばのニュースお知らせ』度	3.0 (2.90)	・結構頑張っている。
	8	『遅くなっても船で離島に行けちゃう』度	1.5 (2.09)	・桃取航路については評価できる。経営を考えると難しいが。 ・他の航路も頑張れよ。
	9	『道路でこぼこ解消』度	3.0 (2.97)	・少しずつ良くなっている。 ・細かい所ではこれから。
	10	『バス運賃お値打ち』度	2.0 (2.30)	・割高。いろんなやり方もある。 ・白ナンバーでも福祉目的とかなら離島でもOK。
ふ っ う	11	『どこでも自転車で安全に行き来できる』度	(2.33)	
	12	『橋でいつでも離島に行ける』度	(1.47)	
	13	『まちなか車でお出かけしやすい』度	(2.11)	
	14	『バスの利用しやすい』度	(2.12)	
	15	『セントレア最終便でも鳥羽に帰れる』度	(2.12)	
	16	『市民が理解できる料金』度	(2.32)	
	17	『遠隔地交信が進んでいる』度	(2.64)	

上段：当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)

下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

## (2) まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

### 1 『まちづくりのものさしがよく分かる』度 【通信簿 2.0】

- ・行政主導で各団体や個人に今後やっていくまちづくりについての題材を与え統一した会議によって活動していく。
- ・各団体から代表者を出し意見等を検討する会を作る。
- ・各団体同士での集まる会を作りそれぞれの意見を取り入れたものをつくっては。
- ・各団体、町内会、市でまちづくりについての会をつくる。
- ・各種団体の意見を集約する。まず組織作りから。(市民団体も含めて市民みんな)
- ・参加団体の人は自分の会に戻ったらちゃんと報告をして自分の会の意見も聞いてくるようにすること。

### 2 『まちなか景観まとめ』度 【通信簿 2.0】

- ・鳥羽としての大きな1つのイメージをつくる。例えば、“海”とか“城下町”とかe t c .
- ・町それぞれによってめざす所は違うと思いますが、ブロックごとに方向性を決め、市全体で見るときに統一されたまちのデザインを実行していく。
- ・観光の柱をつくる。九鬼水軍、鳥羽城があってそれに向かった流れがある。金をかけるのではなく、東側斜面の石積みなどを見せるようにする。城の縄張りを正確に再現。
- ・町内で自分のまちのイメージをつくる会をつくる。
- ・各種団体の意見を集約する。まず組織作りから。(市民団体も含めて市民みんな)

### 3 『みなとにぎわい』度 【通信簿 2.0】

- ・観光の魚市場をつくる。(大規模、統一感のある)
- ・マリントウン21計画の中から取り組めるものを少しずつでも実現させる。大きなものには期待していない。
- ・マリントウン21計画の見直しを市民一体となってる。
- ・港に人が集まる施設をつくる。(観光客だけでなく市民も集まる)
- ・大きな船だけでなく、ヨット、小舟の泊まれる港にする。
- ・マリントウン21完成後のイベントの利用。
- ・神戸や横浜までは無理としても、店を含めた人が行きたくなる港をめざしてほしい。

### 4 『海・川のきれい』度 【通信簿 2.0】

- ・住民の雑排水をきれいにするようにする。(住民の意識)
- ・法規制をする。(条例制定：海、川をきれいにする保護条例とか)
- ・下水道整備をもっと進める。
- ・長期的には下水道だと思うが。
- ・下水道整備。

5 『市営船経営見直し』度 【通信簿 1.5】

- ・行政側の定期船課と観光課の意見統一を図る。
- ・離島生活者と観光客の両面から経営を見直す。
- ・利用客を増やすよう考えることが必要 市が一体となる。
- ・完全民営化すれば黒字は間違いない。補助金なしで自由な航路。(経営面から考えれば)
- ・県道と位置づけ県営とする。
- ・小直してなくリストラクチャリングとして今から始めて航路を敷くといった潔さで考える

6 『市民が憩える場所がいっぱいある』度 【通信簿 3.0】

- ・憩える場所があっても利用されていないのが現状なので、再度市民の意見を聞く必要があるのでは？
- ・場所はあるのでもっと利用しやすい環境にする。 駐車場、便所とか。

7 『とばのニュースお知らせ』度 【通信簿 3.0】

- ・広報とばと配布されるチラシ類が何枚もある。できるだけ統一する。紙がもったいない。
- ・受信の次は返信と考えましょう。市民からの意見。
- ・ケーブルテレビで行政情報を発信する。
- ・“たくさん来て”という気持ちが伝わる広報とばづくりをする。

8 『遅くなくても船で離島に行けちゃう』度 【通信簿 1.5】

-----

9 『道路でこぼこ解消』度 【通信簿 3.0】

-----

10 『バス運賃お値打ち』度 【通信簿 2.0】

- ・現況の補助金に頼るのではなく、バス運行の用途変更をしたらいいのでは？
- ・運行体系等コミュニティバスなど考えることや方法はある。

## 「豊かな心と創造性」(教育・文化分野)

### (1) まちの通信簿

区分		ものさしワード	通信簿	
			点	採点理由
最重要	1	『みんな大切と思えるような制度・教育、啓発活動ができているか』度	2.5 (2.77)	・ソフト面の改善に向けて力を入れていってもらいたいから。
	2	『子どもたちの学力・創造性を伸ばせる環境があるか』度(ITなどの設備、教育の質)	2.5 (2.81)	・自然環境には恵まれているが、人的な問題(教師にゆとりがない、多様な対応ができない)が大きく、ハードをもっと生かしていくべきだから。
	3	『みんながコミュニティに関心もって活動している』度	3.5 (2.81)	・関心を持っている人は増えてきているが、地域による差がまだまだ大きいから。
	4	『地域と学校が連携している』度	4.0 (3.14)	・連携は進んできていると思う。でも地域や風土の違いがあり地域差があるから。(5点にはできない)
	5	『日常的に文化に触れる機会がたくさんあるか』度	2.0 (2.64)	・文化に触れる機会は小規模だがアル。大規模なものは施設的に各地域では無理なため、もっとPRや周知をすべきだから。
重要	6	『ボランティアやっている人同士がつながりをもてるようにしているか?』度	2.0 (2.39)	・つながりがない。つくりにくい。そのための核となる組織、施設が必要だから。
	7	『鳥羽の歴史文化掘り起こして紹介できているか』度	3.8 (3.23)	・よく掘り起こされ、ガイドボランティアにより紹介され、関心のある人たちの関わりも増えてきている。これからより一層多くの人に関わってってもらいたい。(観光畑での活用は特に進んでおりガイドセンターの役割は非常に評価できるがより幅広い展開を望む)
	8	『伝統文化の後継者が育っているか』度	3.0 (2.50)	・各地区に伝統文化があり受け継がれよく取り組まれているが後継者の問題が難しいから。
	9	『地域の人々が安心・安全に学校が利用できる』度	2.0 (2.54)	・地震対策が不十分だから。
	10	『国際観光文化都市にふさわしい国際交流しているかな?』度	2.5 (2.29)	・国際交流はしているが、市民の受け入れ態勢が不十分だから。

上段：当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)

下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点



## (2) まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

### 1 『みんな大切と思えるような制度・教育、啓発活動ができているか』度 【通信簿 2.5】

- ・子ども、老人、「弱い立場」にいる人を大切にしていこうという考え方を明文化し、そのための施策を打ち出す。
- ・すぐに結果が出るものでないからねばり強く啓発活動を。
- ・地道に啓発を継続しておこなっていく。
- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進める。

### 2 『子どもたちの学力・創造性を伸ばせる環境があるか』度（ITなどの設備、教育の質） 【通信簿 2.5】

- ・教育は「未来への先行投資」「将来の鳥羽を担う人材育成」という意識を明確に持ち、「お金」をかけることを惜しまない。
- ・介助員や心の相談員のような立場の人を学校現場へ。
- ・家庭の教育力を高める（生活を安定させる）民生委員のような立場の方を増やす。
- ・子どもに関わってくれる人を増やし、みんなにゆとりを。
- ・教員以外の人的配置を充実する。いろいろな人が教育の場に関われるようにする。
- ・じゃまされることも受け入れる覚悟で地域の人に目をかけてもらう。
- ・現場の教職員の具体的な声を聞く。それをもとに具体策を考える。

### 3 『みんながコミュニティに関心もって活動している』度 【通信簿 3.5】

- ・各地区のコミュニティをつなぐ活動、催しを行う。
- ・各課が連携する（例えば教育委員会、総務、市民など横断的に）

### 4 『地域と学校が連携している』度 【通信簿 4.0】

- ・定例的に地域と学校が話し合いの場を持つ。
- ・連携しているメリットの例としていない事例を紹介する。
- ・具体的にどういう取り組みをしているのか一般市民にもPRしていく。

### 5 『日常的に文化に触れる機会がたくさんあるか』度 【通信簿 2.0】

- ・粘りとセンスのある職員を配置する。
- ・文化施設を充実させればそれに伴い文化に触れる機会が増える。
- ・ホールの利用規制の見直しをして薄利多売の精神で。
- ・文化会館で自主事業を行う。
- ・市文大ホールでコンサートや演劇を年に1回ずつ行う。
- ・観光イベントが市民にも価値のあることをPRする。（市民が楽しめないものを観光客が楽しめるか）
- ・生涯学習講座の種類を増やす。

6 『ボランティアやっている人同士がつながりをもてるようにしているか?』度 【通信簿 2.0】

- ・ボランティア活動の紹介、窓口の一本化。
- ・ボランティア団体の何か連絡窓口をつくる。
- ・市民活動センターをつくる。
- ・ボランティア団体間の交流のシステムづくりを行う。

7 『鳥羽の歴史文化掘り起こして紹介できているか』度 【通信簿 3.8】

- ・歴史調査員を多く雇う。
- ・鳥羽の歴史文化についてまとめた小冊子をつくり、市民に配布する。
- ・まちづくり情報バンクのようなものをつくり、とりあえずそこに聞けば某かの情報がわかるという仕組みをつくる。
- ・鳥羽の歴史文化やウォーキングコースを利用したイベント開催。

8 『伝統文化の後継者が育っているか』度 【通信簿 3.0】

- ・後継者を育てるための指導者づくりに先ず取り組む。
- ・後継者になる若者が鳥羽市に残りたい、住みたいと思う環境整備(雇用、住宅、福祉etc)

9 『地域の人々が安心・安全に学校が利用できる』度 【通信簿 2.0】

- ・耐震工事の予算をたくさんつける。

10 『国際観光文化都市にふさわしい国際交流しているかな?』度 【通信簿 2.5】

- ・市の中に推進部を確立する。(国際交流推進課)
- ・国際交流協会の活動等の紹介や、募集等の周知をはかる。
- ・小、中、高校で外国語教育を充実させ、子どもの時から国際化になじませる。
- ・市の職員に外国人を採用する。

「活力と魅力」(産業・経済分野)

(1) まちの通信簿

区分		ものさしワード	通信簿	
			点	採点理由
最重要	1	『農林漁業と観光ミックス』度	2.5 (2.59)	・観光と漁業は連携したイベントなどを実施しており盛り上がりつつあるが、システムが未確立である。 ・農業に動きがない。
	2	『観光客に対する市民親切』度	3.5 (2.92)	・一部の観光事業者の従業員教育に課題が残る。
	3	『鳥羽へまた行っちゃう』度	2.5 (2.51)	・いろいろな観光客のニーズに合致していない、決定的な魅力に欠けている。(何をとっても普通)
	4	『まちのお宝活用』度	2.0 (2.37)	・市内に潜在するお宝は市民自体の認識度がないため活用されていない。身近なお宝に向かおうとしない。
	5	『地域と協調、地域とつながる商売』度	2.0 (2.24)	・個々に努力しているものの連携が弱い。
重要	6	『職場の近くで安く快適に住める』度	2.0 (2.05)	・住宅環境の悪さに加えて生活関連施設も充実していないため。
	7	『若者の地元就職』度	1.5 (1.71)	・魅力のある仕事が少ないため。
	8	『元気な企業がいっぱい』度	2.0 (1.97)	・景気の低迷により地元企業に活力がない。また、地価が高いことなどをを受けて企業誘致が図れていない。
	9	『地元食材の活用と多彩な料理メニュー』度	3.0 (2.61)	・業者によって地元食材の活用度にバラツキがある。
	10	『観光情報が手に入れやすい』度	3.5 (3.24)	・ポータルサイトがないものの観光関係者がホームページなどで情報発信を行っているため。
ふっ う	11	『市民の観光PR』度	(2.82)	
	12	『安心して離島観光できる』度	(2.61)	
	13	『漁業とレジャーの融合』度	(2.29)	
	14	『宿泊施設のバリアフリー』度	(2.60)	
	15	『遊歩道を歩きたくなる』度	(2.70)	
	16	『(鳥羽らしい)しおさいの香りがする土産(特産品)』度	(2.58)	
	17	『市内をグルっとめぐれる』度	(2.49)	

区分	ものさしワード	通信簿	
		点	採点理由
18	『安価な宿泊料金やいろんな宿泊料金設定 を選べる』度	(2.77)	
19	『何があってもすぐ再生』度	(2.14)	
20	『協働して市民に還元できている』度	(2.37)	
21	『買い物で市内で済ませられる』度	(1.89)	
22	『商店街に足を運ぶ』度	(1.70)	
23	『工場経営元気』度	(1.94)	
24	『雇用につながっている』度	(1.71)	
25	『企業支援が鳥羽市にとってプラスになっ ている』度	(1.96)	
26	『鳥羽市の元気』度	(2.11)	
27	『安心安全な魚介が食べられる』度	(2.93)	
28	『農業が続けられる』度	(2.37)	

上段：当該グループで検討した結果の点（最重要、重要のみ採点、0.5刻み）

下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

## (2) まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

### 1 『農林漁業と観光ミックス』度 【通信簿 2.5】

- ・農林、漁業、観光業者が一堂に会して協議する場を設けて議論する。
- ・朝市を各離島で行う。
- ・物産展などを現状より増やし内外のPRに力を入れ流通の仕組みも図っていく。
- ・農林漁業を観光客が体験できるように。
- ・特産品のコンセプトづくりとブランド化を行い観光面と連携して全国発信する。
- ・観光を兼ねた総合市場があればよい。

### 2 『観光客に対する市民親切』度 【通信簿 3.5】

- ・地域別の観光「豆単」を作る。
- ・May I help you?運動。(どんな人でも)
- ・観光業に携わる人をターゲットとする研修機会を大幅に設ける。
- ・市民が誇れるまちづくりに力を入れ市民自らも鳥羽のまちを愛する。

### 3 『鳥羽へまた行っちゃう』度 【通信簿 2.5】

- ・自然、伝統文化を残し、継承していく。
- ・季節ごとの呼び物づくり。(食、花、文化、祭、イベント)
- ・鳥羽の特長を生かした「売り」を作り人情で魅力をプラス。
- ・鳥羽市全体の観光キャッチコピーを作る。

### 4 『まちのお宝活用』度 【通信簿 2.0】

- ・鳥羽の「お宝」を発掘して徹底的に検討を行い、PR事業を行う。
- ・市民自らがお宝に気付く。(例えばアンケートを内外で取ってみる)
- ・生活様式を見つめ直し、他との比較を試みる。
- ・さらなる資源のデータベース化。まちのお宝情報を地元の方々にデータベース化し、市民全員に広く紹介する。

### 5 『地域と協調、地域とつながる商売』度 【通信簿 2.0】

- ・鳥羽市のランドデザインの整備 地域ごとの特色デザインし整備を行う。(コンセプトをつくる)
- ・地元産を強調するブランド開発と戦略的な方向付けも必要。
- ・各地域に行列のできる店が一つ以上できる。
- ・住民にあった販売方法を検討する。

### 6 『職場の近くで安く快適に住める』度 【通信簿 2.0】

- ・市営住宅(集合住宅の整備)または民間建設者への支援を行い、居住空間の整備をする。(建設貯金)
- ・市の土地を安く分譲して販売する。残存している市有地の現況調査を進め、建設業者に安価に売却し、住宅環境整備を促進する。
- ・市営住宅のバリエーションを増やして条件緩和する。
- ・離島に市営住宅の建設。
- ・現状とニーズ把握、可能な部分での改善。

7 『若者の地元就職』度 【通信簿 1.5】

- ・親が自分の仕事に誇りを持たば子も地元に残ろうと考える。
- ・親の世代も後継者育成など情熱を注ぐ。
- ・トップセールスを行い、企業誘致に努める。

8 『元気な企業がいっぱい』度 【通信簿 2.0】

- ・トップセールスにて観光業をバックアップして元気な企業を育成 全ての企業に行き渡  
るように。
- ・市民自らも地元企業を応援する。地元企業の優先利用とそれに応える企業体質をつくる。
- ・松尾工業団地の利活用を再検討する。

9 『地元食材の活用と多彩な料理メニュー』度 【通信簿 3.0】

- ・地元食材を使うPR及び認定証のようなものをつくる。
- ・市内業者対象で地元食材を使った料理大会を実施する。(TV放送)
- ・企画、PRできっかけづくり、ブランドづくり。
- ・昔の食生活を見直し、料理メニューの開発をする。
- ・ホテルの売りは何か、旅館の売りは何か、民宿の売りは何か、「棲み分け」重要。

10 『観光情報が手に入れやすい』度 【通信簿 3.5】

- ・各観光スポット、施設、支所等における情報の共有化とPR誌等の配布、発信。
- ・現状で足りない面をチェックし新たな魅力も追加していく。
- ・観光情報(鳥羽市)のポータルサイト化を行う。

## 「計画と推進」(行財政分野)

### (1) まちの通信簿

区分	ものさしワード	通信簿	
		点	採点理由
最重要	1 『事業の優先度ハッキリ』度	2.0 (2.41)	・意見をいかす場がない。 ・よくない事は一致。 ・パブ・コメ生かす仕組み。
	2 『市の意志決定オープン』度 (『市政に気軽に意見が言える』度、『市民と市の風通し良好』度、『腹を割って話し合える(市民と)』度)	2.0 (2.32)	・プロセスのオープン度は1. ・結果のオープンはしている。 ・いきさつはわかってても何でかわからない。 ・市の方から積極的に情報を流せ。
	3 『市民ビジョン共有合意』度	1.5 (2.28)	・ビジョンはあるが合意がなかった。バラバラ。これからだ。
	4 『庁内市内だれでも情報アクセス』度 (『鳥羽が毎日わかる』度、『HP いきいきとどんどん注目便利』度)	2.5 (2.62)	・HPの一定の効果はある。 ・HPだけでいいのか。 ・誰に見て欲しい?
	5 『協働のまちづくりを進める制度進展』度 (『市民参加機会いきいき確保』度、『まちづくり市民参加(意識)』度)	1.5 (2.22)	・制度はなかった。今からスタート。
	6 『行財政運営が家計みたいに手に取るようにわかる』度	1.0 (2.29)	・わかりにくい。
重要	7 『職員と市民のセントレアのようなハブ機能』度	2.0 (2.52)	・職員が怖がっているのでは...
	8 『職員・市民関係なくきずなが進化していく』度	2.0 (2.52)	・一部の人だけではないか。 ・いろんな事の成果として絆深まる。
	9 『職員いきいき評価され』度	1.0 (2.21)	・仕組み自体がない。
	10 『NPO がいきづく』度	2.5 (2.42)	・少ないがNPOが育ってきた。
	11 『自治会とNPO一緒にパートナー』度	1.5 (2.22)	・まだまだこれから。
	12 『小さなコミュニティきめ細かくいきいき』度	2.0 (2.43)	
ふつう	13 『注目のまち』度	(2.26)	
	14 『広域でWSやフォーラムがいつも開かれる』度	(2.27)	

上段：当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)

下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

## (2) まちの通信簿の点数を上げるためのアイデア

### 1 『事業の優先度ハッキリ』度 【通信簿 2.0】

#### プロセスに関わる機会

- ・事業決定までのプロセスにおいても情報開示をする必要あり。(開示できる部分についてはHPで毎日更新とか広報でのお知らせなど)
- ・総合計画をしっかりと共同で作し、市民で共有する。誰もがこの「ものさし」を使っているようになればハッキリする。
- ・事業を決定する「いきさつ」が知りたいのではなく「ビジョン」に照らし合わせ決めるべきだ。
- ・プロセスマネジメント 重要性で濃淡を付ける。
- ・政策決定に至るどこかで市民(有識者)の意見を聞く機会を設ける。
- ・情報開示と検証(3年プログラム公開、市民委員、パブリックコメント制の全面实施)

#### 優先の基準が市民から見えてわからない

- ・各施策における計画等策定プロセスへの市民参加機会の確保。
- ・市民の意見を聞く機会を作ってはどうか。
- ・事業評価をする。
- ・市民参加の会議を多く開催し意見を取り入れる。

### 2 『市の意志決定オープン』度 【通信簿 2.0】

#### 市民が振り回される

- ・今何を行政がやろうとしているかを開示する事。わかりやすい方法でHP、広報「行政は今」
- ・協働型会議を市の正式な会議として位置づける仕組み。
- ・市政モニター制度の活用。
- ・協働型意志決定に目的を絞った「行政改革」を進める。(ワーキング立ち上げ)
- ・積極開示制度(庁議 市長地域懇 対職員交流 審議会)
- ・(決定全般で)意志決定過程への市民参加機会の確保。

#### 市政モニター、HP

- ・(決定後)市の方から広報やWebサイトを通じて積極的に過程を明らかにする。
- ・広報、HPにこんな事をやっています報告をする。
- ・鳥羽市のホームページを利用。

### 3 『市民ビジョン共有合意』度 【通信簿 1.5】

#### ラウンドテーブル、まちづくりセンター

- ・市全体ビジョン「笑顔と感動～」を宣伝する。市民にもっと広める。
- ・横断的(テーマ別)WSを常開催している。
- ・「場所」話をする拠点づくり。
- ・まちづくりセンター機能を担う仕組みを育てる「仕組み」づくり。



4 『庁内市内だれでも情報アクセス』度 【通信簿 2.5】

市民交流情報張り出す（HP、市政モニター）

- ・人が集まる場所に毎日更新されたHPのコピーを張る。（図書館、ひだまり、港湾センター、ジャスコ、駅）
- ・巡回機能、コンシェルジュ。
- ・情報広場を市役所に設ける。出前トークで各地を巡業する。
- ・市政モニター活用。（市政モニターからプロガー育成、もっとHPをつなげる、リンク）
- ・広告代理店のアイデア（編集）誰に届けたいかでメディアを選ぶ。
- ・HP各課ページおもしろく豊かに（スタッフ、仕事ぶり、声）
- ・週間広報とば。
- ・窓口対話制をもっとアピール。
- ・FAQページの作成。
- ・市民交流の場所を作る。

5 『協働のまちづくりを進める制度進展』度 【通信簿 1.5】

民間のコーディネーター設置。条例、市民力アップ型。

- ・「協働」のまちづくり条例を「協働」でつくる。
- ・「協働」のハートとスキルアップ講座を常にやる。（市民及び職員）
- ・市民塾で「協働」のできる責任ある市民育成。
- ・民間のNPOとの協働コーディネーターを設置する。
- ・市の役割の「市民まかせ」制。
- ・人材の育成。

6 『行財政運営が家計みたいに手に取るようにわかる』度 【通信簿 1.0】

- ・説明する機会を下さい。
- ・広報とばなどで旅話、グラフ、家計簿になぞらえてプレゼン。
- ・もっと面白みのある読んでみたい内容に工夫して提供する。
- ・専門用語を使わない、絵解きで伝える「仕組み」広告代理店的発想。
- ・「市の仕事」パンフレット発行（例 にせこ町）
- ・Web上に財政シミュレーターを公開する。（実際に自分で財政を動かしてみる事で、より理解が深まるのでは）
- ・わからないものの立場で作って欲しい。
- ・わかりやすい内容で例をあげて説明する。

7 『職員と市民のセントレアのようなハブ機能』度 【通信簿 2.0】

地域担当ホームドクター、出前トーク

- ・各団体の代表者にはその団体に報告し、意見を聞いてから次の会議に出るようにしてもらう。その人しか知らないということのないよう。
- ・職員による出前トークを実施する。
- ・市民、職員でざっくばらんミーティングを開催。部課とは別に「地域担当」職員を決める。
- ・みなとまつりの機会を活用してハブ的職員育成。
- ・地域分担制。(ホームドクター職員)
- ・市民対応研修の実施。
- ・職員がワークショップなどに積極的に参加していく。
- ・「なんでも窓口」の設置。(たらい回しにしない)

8 『職員・市民関係なくきずなが進化していく』度 【通信簿 2.0】

今の「この」WSが良い。

- ・NPO、市民と一緒に実務者WS(できればオープン)をやる習慣をつける。
- ・今方式の常用化。

9 『職員いきいき評価され』度 【通信簿 1.0】

NPO勝手に表彰

- ・個人評価よりその成し遂げた事業等について市民に点数付けをしてもらう。
- ・NPOが職員さんを勝手にほめてしまおうイベント。
- ・「今年度私が一番嬉しかった市、市職の仕事」
- ・人事決定過程の透明化。

10 『NPOがいきづく』度 【通信簿 2.5】

市民活動センター

- ・市政モニターを市民職にして、NPOの生まれる土台づくり。
- ・市民活動センターを生み出す「仕組み」づくり。
- ・行政として支援する仕組み。
- ・NPOとして他を受け入れる努力。
- ・NPOを支援する制度を充実させる。
- ・活動内容をPRしていく必要あり。

11 『自治会とNPO一緒にパートナー』度 【通信簿 1.5】

- ・双方の情報提供をしよう。
- ・双方ともに受け入れる雰囲気づくり(防災を切り口に)

12 『小さなコミュニティきめ細かくいきいき』度 【通信簿 2.0】

- ・コミュニティモデル地区をつくってみる。
- ・いろんなことが成果を出した結果としてこうなるのでは？

## 2. 鳥羽市まちづくり提言市民会議

### (1) 組織・構成

鳥羽市まちづくり提言市民会議（以下、市民会議）の参加者は、市民を対象にした一般公募と、市内各種団体からの推薦によって募りました。市民会議は、三重大学人文学部の鹿嶋洋助教授を座長に迎え、公募委員と推薦委員に、情報提供役としての市職員を加えた形で構成しています。

### (2) 目的

第4次鳥羽市総合計画後期基本計画の策定に向けて、市民と行政が情報を共有して同じ認識を持つために「まちづくり提言市民会議」を設けました。市民会議では、前期5年の評価と後期5年に向けた提言の2つを目的としています。市民会議による評価・提言は、庁内ワーキンググループを中心とした後期基本計画（案）づくりの資料として活用します。

#### 最近5年の鳥羽市を振り返り、みんなで通信簿をつけよう〔評価〕

「保健・福祉」「環境・安全」「都市基盤・生活環境」「文化・教育」「産業・経済」「交流・行財政・自治」の6分野で、最近5年を振り返ってまちの通信簿をつけ、市民の視点から鳥羽市を評価してもらいました。

#### これからの5年で、みんなでこんなふうに鳥羽市をよくしていこう〔提言〕

みんなでつけたまちの通信簿をうけて、これからの5年で鳥羽市をよくするために、こんなことをしていこうというアイデアを出してもらい、それを取りまとめて提言します。

### (3) 内容・期間

市民会議は、平成17年2月から6月までの期間で全5回の開催をいたしました。

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：まちの点検『今の鳥羽市はどうなの』
- 第3回：評価イメージの抽出『市民のものさしを探そう』
- 第4回：通信簿づくり『市民のものさしで通信簿をつけよう』
- 第5回：提言の取りまとめ『これからの5年はこうしよう』

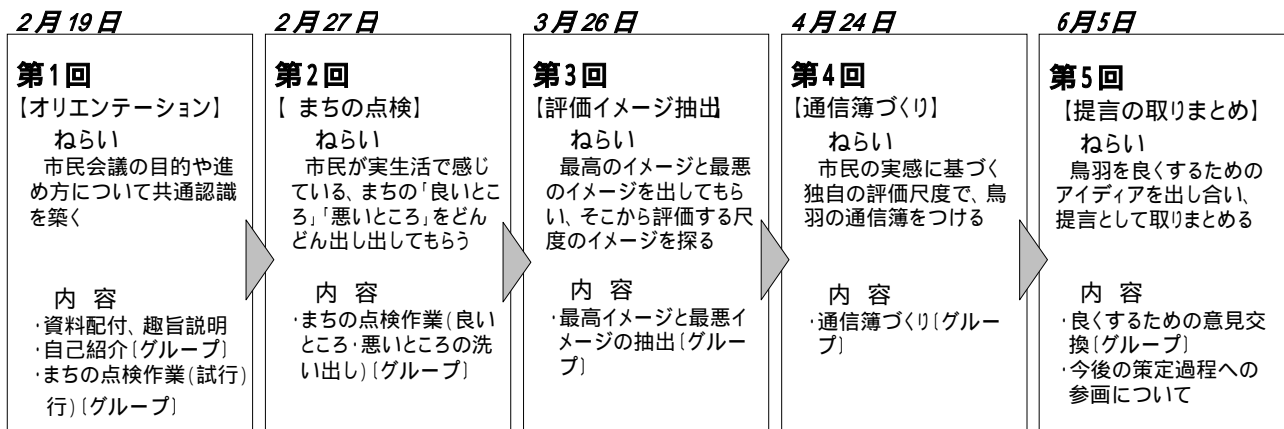


図 - まちづくり提言会議のフロー、および各回のイメージ

## 市民の視点による鳥羽市の評価

「保健・福祉」「環境・安全」「都市基盤・生活環境」「文化・教育」「産業・経済」「交流・行財政・自治」の6分野において、市民の実感に基づく独自の尺度で、前期5年の鳥羽市を評価し、通信簿をつけました。

## 鳥羽市を良くするための提言

市民の視点による鳥羽市の評価を基に、鳥羽市を良くするためのアイデアを出し合い、市民会議から市長に提言します。提言は一般に広く公表されるとともに、後期基本計画(案)づくりの資料として活用します。

## まちづくり提言市民会議の成果物の掲示による市民意見

図書館と保健福祉センター「ひだまり」、市庁舎において、各回の成果物として模造紙の縮小コピー(カラー)を掲示するとともに、まちづくり提言市民会議に対する市民の意見を求めました。各施設での成果物の掲示および意見収集期間は下表のとおりである。

	図書館	保健福祉センター「ひだまり」
期間	3月11日(金)～3月24日(金)	3月11日(金)～3月24日(金)
	4月8日(金)～4月22日(金)	4月8日(金)～4月22日(金)
	5月9日(月)～5月16日(月)	5月9日(月)～6月3日(金)
	6月21日(火)～6月28日(火)	6月21日(火)～6月28日(火)
	市庁舎	
	6月21日(火)～6月28日(火)	

## (第2回終了後の収集意見)

[意見収集期間：図書館、保健福祉センター/3月11日(金)～3月24日(金)]

分野	良いところ	悪いところ	その他
保健・福祉	福祉関係(ひだまり)等の現場職員が頑張っている。	災害要援護者への工夫がされていない。	
	社会福祉協議会の職員の皆さんありがとうございます。	障害児へのニーズの対応が遅い。	
	バリアフリーが進んでいる。	保育所の土曜日に受入がない。	
		福祉センター(ひだまり)よりも小さい施設が各町にない。	
		全然、サービスが行き届いていない。	
		道路の段差が多い。	
環境・安全		管理栄養士による市民健康管理教室が少ない。	
		「たまも」周辺の道が歩行者にとって危ない。	
		安楽島の海のゴミが多い。	
都市基盤 生活環境		道端にゴミが多い。	
		観光地なのに、ポイ捨てされたゴミが目立つ。	加茂川河口の整理(津波対策)
		景観をもっと美しくする努力をする。	
		市民病院がない。	
	飛行機の音がうるさい。		

分野	良いところ	悪いところ	その他
		体育館周辺にゴミが多い。	
教育・文化	体験学習が増えている。	鳥羽小学校は、日本唯一の鉄筋校舎であり、また鳥羽城跡地であるために取り壊しはおいしいものがある。	図書館の利用時間を朝早くからあけてほしい。
	市立図書館でインターネットで予約したケンリツ図書館の本が借りられるようになった。	図書館のパソコンが古い。	市営グラウンドをもう少し活用できるようにしてほしい。
	図書館の本が増えた。	美術館、映画館がない。	安楽島小学校をもっときれいにしてほしい。
	図書館でインターネットが利用できて良い。	土日曜日の図書館の職員が少なく待たされる。	図書館の民間委託を検討して、土日曜日の人員不足を解消
			図書館の夏場の閉館時間を19:00までにしてほしい。
産業・経済	みなとまつりの花火が毎年よくなっている。	祭事は多いがイベントが少ない。	
		学歴や資格をもっているも生かすチャンスがない。	
		漁港内を自分のもののように使用している。(安楽島地区)	
		釣り人がゴミを置いていく。	
		鳥羽の風景がいかに不景気をよそおっている。	
行財政		市役所の各課の横のつながりが無い。	アリバイにならないようお願いします。
		各課の窓口の職員対応が悪い。サービス意識がない。	市職員の世襲的採用を禁止する。市職一家。
		人口のわりに、市職員の人数が多い。	市の臨時採用の禁止。市職員500人を1/2に。
		市役所は、NOばかりで頼りがいがなく、逃げて無責任	市職員の民間研修をすべきである。

(第3回終了後の収集意見)

[ 図書館、保健福祉センター / 意見収集期間：4月8日(金)～4月22日(金) ]

場所	まちづくり提言市民会議の取り組みについてのご意見・感想について
図書館	<p>(Aさん)</p> <p>どうしてこんな見にくくわかりにくい表を堂々と貼れるのかわからない。</p> <p>もし、本当に市民の声を聞き、市民参加するということに、鳥羽市民が市政に興味を持つようにしたいと望むなら、わかりやすく、見る人の立場にたって、まとめた表を出すべきでは。</p> <p>忙しいのかも知れないが、せめて、各項目1枚ずつのまとめの紙を作るくらいはできるはず。</p> <p>そのまま表を貼って、「市民に対し発表をしました」というのは、少し傲慢ではないか。</p> <p>気持ちは評価するが、皆がこの紙に意見を言いたくなるようなものをつくってほしい。</p>
	<p>(Bさん)</p> <p>たしかに見にくいけど、赤と青のものを1枚ずつちゃんと読んでいくと、おもしろいと思います。</p> <p>カテゴリーがくくってあるし、それぞれの直筆で、あ！、この字の人はこんなことを考えてるんだなあ～と想像できるから。</p> <p>参加することが、一番大切なんだな。</p>
保健福祉センター	

(第4回終了後の収集意見)

[意見収集期間：図書館／5月9日(月)～5月16日(月)  
保健福祉センター／5月9日(月)～6月3日(金)]

場所	まちづくり提言市民会議の取り組みについてのご意見・感想について
図書館	(Aさん) 非常に良い試みだと思います。この通信簿を市民が持ち帰られるようにして下さい。
保健福祉センター	

(第5回終了後の収集意見)

[図書館、保健福祉センター／意見収集期間：6月21日(火)～6月28日(火)]

場所	まちづくり提言市民会議の取り組みについてのご意見・感想について
図書館	(Aさん) 字が小さかったです。 (Bさん) すごかったです。とてもいい作品でした。
保健福祉センター	
市本庁者 玄関前	(Aさん) 先日、主人と二人で10年ぶりに島めぐり、イルカ島、御木本真珠島と行きました。日曜日にもかかわらず、イルカ島も子ども連れが少なく、老夫婦か孫を連れた人、若い人が本当に少なかったです。活気がなくて、なぜ、この美しい海に人が集まってこないのか。なぜ、どこに原因があるのでしょうか。写生大会のように参加できるイベントを増やしてみたらどうでしょうか。

「まちづくりフォーラム(仮称)」の開催

後期基本計画(案)づくりにおいては、庁内ワーキンググループ及びまちづくり提言市民会議の有志を中心に検討を進めますが、計画素案ができた段階で「まちづくりフォーラム(仮称)」を開催して意見交換を予定しています。その場で市民会議による評価・提言の報告を行い、より広範な市民と意識を共有します。

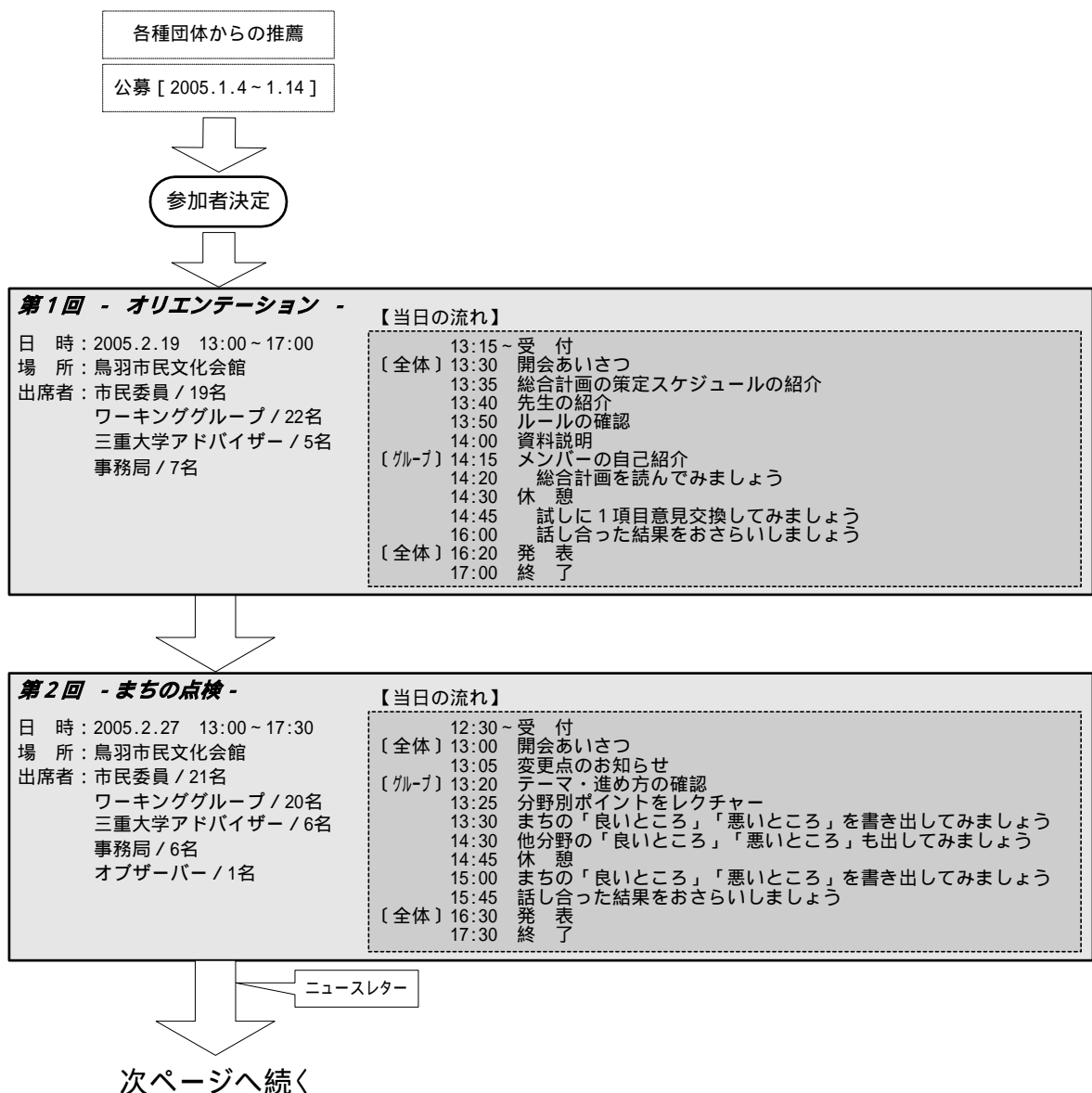
なお、フォーラムの実施においても、企画から実施まで、協働により取り組んでいきます。

## (4) まちづくり提言市民会議の全体の流れ

約4ヶ月にわたって開催した市民会議では、主に市民の実感に基づく尺度による評価作業にウェイトを置いて議論を重ねた。市民会議終了後には、参加者全員にニュースレターと成果物の縮小コピーを配布し、成果の確認とグループ間での情報の共有を図った。

また、図書館と保健福祉センター「ひだまり」において、物として模造紙の縮小コピー（カラー）を掲示するとともに、まちづくり提言市民会議に対する市民の意見を求めた。（寄せられた意見については、P.51～53を参照）

市ホームページにおいても、市民会議の概要やニュースレターによる経過報告を掲載し、広く周知を図った。



前ページからの続き

**第3回 - 評価イメージ抽出 -**

日時：2005.3.26 13:00～17:00  
 場所：鳥羽市民文化会館  
 出席者：市民委員 / 16名  
 ワーキンググループ / 18名  
 三重大学アドバイザー / 6名  
 事務局 / 7名

**【当日の流れ】**

12:30～受付  
 [全体] 13:00 開会あいさつ  
 13:05 ルールなどの再確認  
 [グループ] 13:15 前回のおさらい  
 13:30 「最高のイメージ」「最悪のイメージ」を出し合ひましょう  
 14:30 似たような意見を整理してみましょう  
 14:45 休憩  
 15:00 他のグループに意見を貼り出しに行きましょう  
 15:15 貼り付けられた意見を含めて、話し合った結果をおさらいしましょう  
 [全体] 16:10 発表  
 17:00 終了

「ものさし」へのワークシート

第1～3回の意見を元に  
 ワーキンググループによる  
 「ものさし」のたたき台づくり

ニュースレター

**第4回 - 通信簿づくり -**

日時：2005.4.24 13:00～17:00  
 場所：鳥羽市民文化会館  
 出席者：市民委員 / 13名  
 ワーキンググループ / 20名  
 三重大学アドバイザー / 6名  
 事務局 / 7名  
 オブザーバー / 1名

**【当日の流れ】**

12:30～受付  
 [全体] 13:00 開会あいさつ  
 13:05 第4回および第5回の進め方についての再確認  
 [グループ] 13:10 前回のおさらいと「ものさし」の確認・修正  
 13:40 「ものさし」の優先順位づけをしましょう  
 14:15 「ものさし」の優先順位づけをしましょう  
 15:10 中間発表  
 15:40 他のグループに意見を貼り出しに行きましょう  
 16:00 貼り付けられた意見を含めて、話し合った結果をおさらいしましょう。  
 [全体] 16:20 発表  
 17:00 終了

「宿題」点数づけアンケート

全グループの「ものさし」  
 の点数づけ

ニュースレター

**第5回 - 提言の取りまとめ -**

日時：2005.6.5 9:00～14:30  
 場所：鳥羽市民文化会館  
 出席者：市民委員 / 20名  
 ワーキンググループ / 18名  
 三重大学アドバイザー / 1名  
 事務局 / 8名  
 オブザーバー / 1名

**【当日の流れ】**

08:30～受付  
 [全体] 09:00 開会あいさつ  
 [グループ] 09:10 「ものさし」ごとに点数を付けましょう  
 点数を上げるためのアイデアについて意見交換しましょう  
 他のグループに意見を貼りに行きましょう  
 11:30 話し合った結果をおさらいしましょう  
 12:00 昼食  
 [全体] 13:00 発表  
 14:15 今後の予定について  
 全体で意見交換しましょう  
 14:30 終了

ニュースレター

鳥羽市長への成果の提言

「まちづくりフォーラム(仮)」での報告



## (5) まちづくり提言市民会議開催経過

会議等開催日	事 項
2/17(木)	ワーキンググループ会議
2/18(金)	ファシリテーター会議 (ファシリテーター5名、事務局5名)
2/19(土)	第1回まちづくり提言市民会議 「オリエンテーション」 (市民委員19名、ワーキング22名、三重大アドバイザー5名、事務局7名)
2/21(月)	ファシリテーター会議 (市民委員1名、ファシリテーター4名、事務局6名)
2/23(水)	ファシリテーター会議 (市民委員1名、ファシリテーター4名、事務局4名)
2/27(日)	第2回まちづくり提言市民会議 「まちの点検」よくなったところ、悪くなったところ (市民委員21名、ワーキング20名、三重大アドバイザー6名、事務局6名、オブザーバー1名)
3/4(木)~	「まちの点検」結果掲示(ひだまり、図書館) 市民意見収集 3/24(木)迄
3/15(火)	ファシリテーター会議 (市民委員1名、ファシリテーター5名、事務局5名)
3/22(火)	ワーキンググループ会議
3/26(土)	第3回まちづくり提言市民会議 「評価イメージ抽出」市の最高のイメージ、最低のイメージ (市民委員16名、ワーキング18名、三重大アドバイザー6名、事務局7名)
4/8(金)~	「評価イメージ抽出」結果掲示(ひだまり、図書館) 市民意見収集 4/22(金)迄
4/14(木)	ワーキンググループ会議 午前：福祉・健康、環境・安全、都市基盤の3分野 午後：教育・文化、産業・経済、行財政の3分野
4/19(火)	ワーキンググループ会議
4/24(日)	第4回まちづくり提言市民会議 「ものさしの優先順位づけ」 (市民委員13名、ワーキング20名、三重大アドバイザー6名、事務局7名、オブザーバー1名)
5/9(月)~	「ものさしの優先順位づけ」結果掲示(ひだまり、図書館) 市民意見収集 ひだまり 5/16(月)迄 図書館 6/3(金)迄
5/31(火)	ワーキンググループ会議
6/5(土)	第5回まちづくり提言市民会議 「通信簿の点数づけ、提言のとりまとめ」 (市民委員20名、ワーキング18名、三重大アドバイザー6名、事務局8名、オブザーバー1名)

## (6) まちづくり提言市民会議委員名簿

各グループ別

グループ名	市民委員	ワーキンググループメンバー
「幸せとふれあい」	中村 勝子	河村 和子
	前田 康裕	辻川 雅志
	藤原 宣子	山本 寿志
	大岩 薫	
	野口 あゆみ【「活力と魅力」へ変更】	
「潤いと安心」	小鯛 勝彦	寺田 慎
	山西 元	中村 孝
	稲垣 はま子	西川 丈司【第4回以降、市民委員】
	中北 厚	小崎 誠【第4回以降】
	中山 満樹男	上井 和成
	西川 丈司 【再 掲】	
「快適と魅力」	浦口 久子	堀口 敦 【第5回以降】
	前田 久成	岡村 康史
	寺田 ちあき	舟橋 守
	小久保弘子	佐々木真紀
		山下 祐子
「豊かな心と創造性」	中村 悦子	浜口 ひろ江
	西井 潔	浜田 米生
	大川 千恵美	寺本 直敏
	石原 密	中川 達也【第3回まで】
		森 政也【第4回まで】
		浜田 浩【第5回以降】
「活力と魅力」	濱口 春敏	東川 元洋
	野口 あゆみ 【再 掲】	池田 雄則
	野村 薫	中山 行孝
	村瀬 敬一	
	谷口 由幸	
「計画と推進」	戸上 健	岩井 太
	川村 透	山本 伸子
	佐宗 満	山本 政信【第4回まで】
	高浪 七重	世古 雅人【第5回以降】
	濱口 博 【第4回以降、市民委員】	

グループ名	三重大学アドバイザー	事務局
「幸せとふれあい」	玉川 淳	舘 啓司
「潤いと安心」	岩崎 恭彦	三好 綾子
「快適と魅力」	石阪 督規	吉富 真介
「豊かな心と創造性」	寺川 史朗	田畑 詩麻
「活力と魅力」	鹿嶋 洋	清水 敏也
「計画と推進」	豊島 明子	辻 清道【第4回以降】
		濱口 博【再掲】
総括		野村 憲幸【第5回以降】
		木下 憲一【第4回まで】
		吉田 昌弘

#### 各回の参加者数

	第1回 2/19(土)	第2回 2/27(日)	第3回 3/26(土)	第4回 4/24(日)	第5回 6/5(日)
市民委員	19名	21名	16名	13名	20名
ワーキンググループ	22名	20名	18名	20名	18名
三重大学アドバイザー	5名	6名	6名	6名	1名
事務局	7名	6名	7名	7名	8名
オブザーバー	0名	1名	0名	1名	1名
合計	53名	54名	47名	47名	48名

## (7) 事務局

市民会議の事務局は、鳥羽市企画課企画調整係が担当します。

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目 1-1

TEL 0599-25-1101 FAX 0599-25-3111

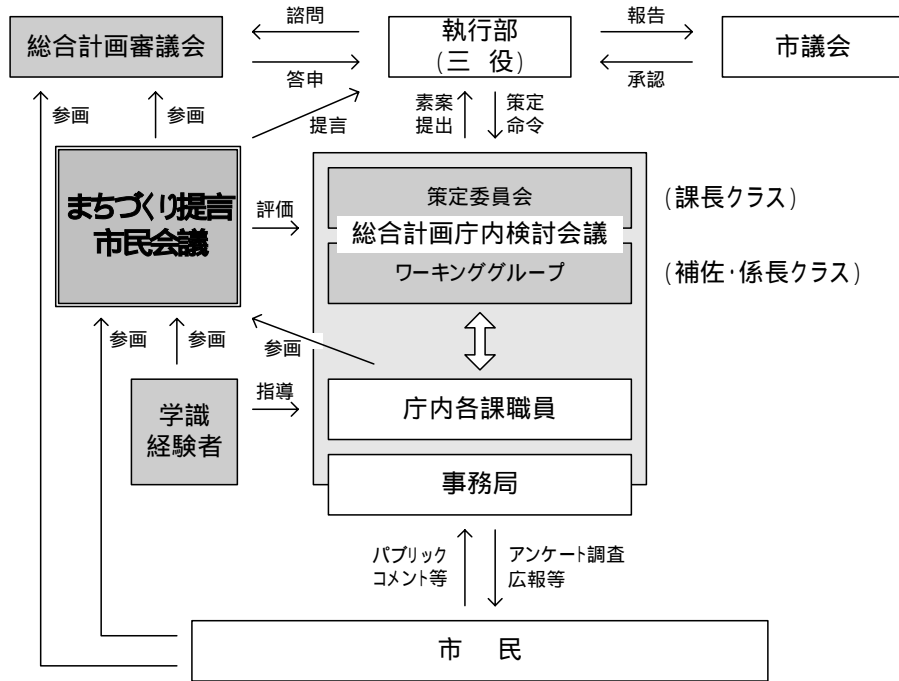


図 - 総合計画の策定体制における「まちづくり提言市民会議」の位置づけ

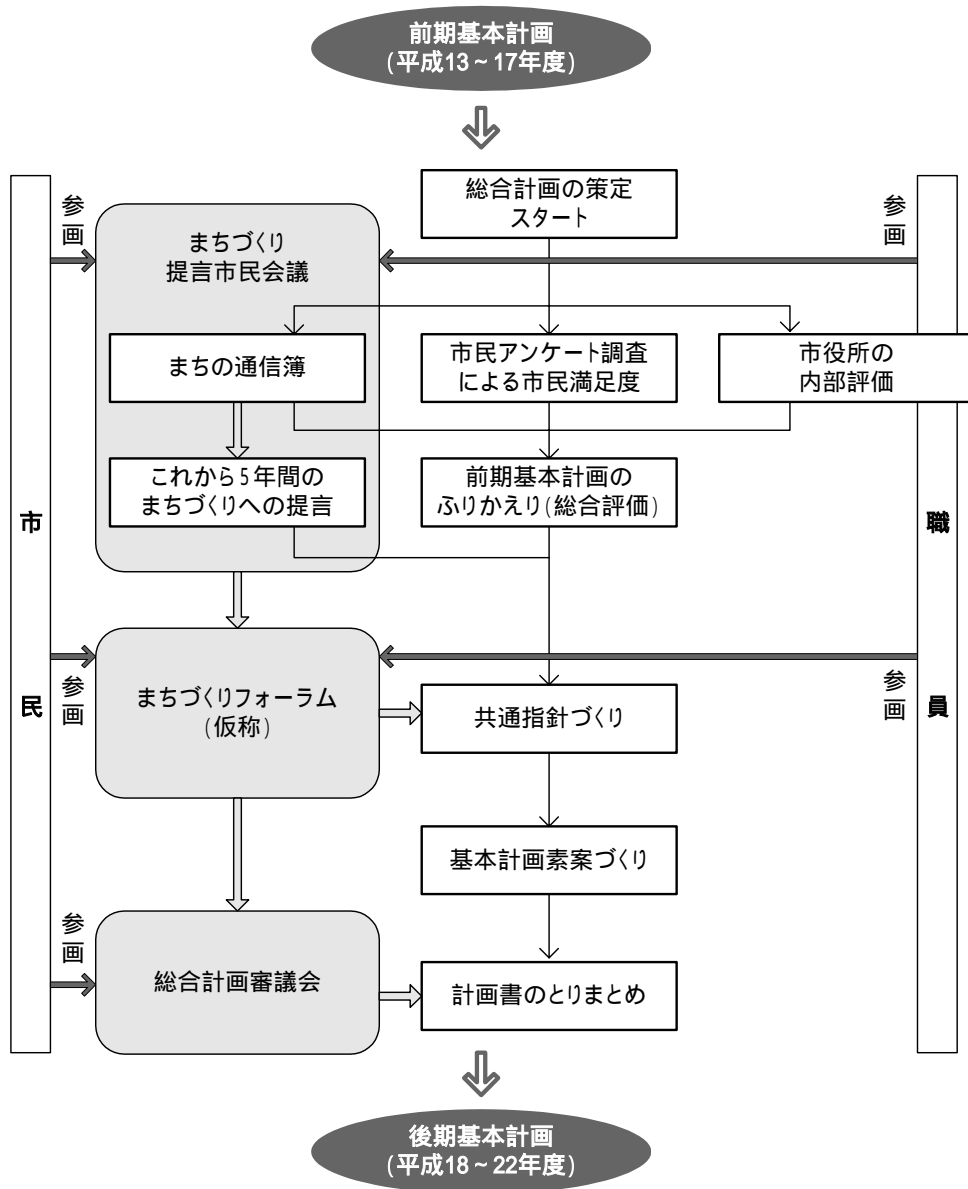


図 - 鳥羽市総合計画（後期基本計画） 策定の流れ

### 3. 鳥羽市まちづくり提言市民会議の成果（提言資料）

まちづくり提言市民会議の結果整理表の見方

- 第1回・第2回 まちの良いところ、悪いところの洗い出し
- 第3回 まちの良いところ、悪いところから導かれる最高・最悪のイメージの抽出
- 第4回 最高・最悪のイメージにもとづく評価尺度“ものさし”の設定と優先順位づけ
- 第5回 “ものさし”の点づけと点数を上げるためのアイデア出し  
 （「最重要」「重要」）

(1) 「幸せとふれあい」（保健・福祉分野）

項目	満足度	【第4回 2005.04.24】		【第5回 2005.06.02】		【第3回 2005.04.24】		【第1回・第2回 2005.02.24】	
		ものさしワード	点	満足理由	アイデア	最高のイメージ	悪いところ	悪いところ	悪いところ
1		「ニコニコものぬいアフォー」度	2.5 22.681	・楽しんでいる場所が少なく、寂しいところが多い。 ・寂しいところが多いので、寂しいところを減らしたい。 ・寂しいところが多いので、寂しいところを減らしたい。	・高齢者向けの施設により、高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。	・高齢者向けの施設により、高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。	・高齢者向けの施設により、高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。	・高齢者向けの施設により、高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。	・高齢者向けの施設により、高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。 ・高齢者向け施設を増やす。
		<b>第4回の結果</b>		<b>第5回の結果</b>		<b>第3回の結果</b>		<b>第1回・第2回の結果</b>	
2		「いつでも身近で受診できる」度	2.0 22.151	・地域の医師の存在が少なく、遠くまで通院しなければならない。 ・地域の医師の存在が少なく、遠くまで通院しなければならない。	・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。	・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。	・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。	・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。	・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。 ・地域の医師を増やす。
3		「病院・サービスの場への交通手段がある」度	2.5 22.461	・交通手段が少なく、遠くまで通院しなければならない。 ・交通手段が少なく、遠くまで通院しなければならない。	・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。	・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。	・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。	・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。	・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。 ・交通手段を増やす。
4		「してほしいことができています」度 （保健・福祉サービス）	3.0 22.901	・利用者の満足度は高く、利用者が満足している。 ・利用者の満足度は高く、利用者が満足している。	・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。	・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。	・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。	・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。	・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。 ・利用者の満足度を上げる。



意見の流れ

(1) 「幸せとふれあい」(保健・福祉分野)

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
最 重 要	1	『こころともののバリアフリー』度	2.5 (2.69)	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んできているが場所も意識もまだまだ全体に広がってない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に困っている人の声、希望を聞く。</li> <li>障害者福祉計画が策定されたら各地区別説明会などを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心は向上</li> <li>バリアフリー化が進みつつある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉。声かけなどがいきるまちづくりになっている。観光客に対して住民が車イスの貸し出しなどを教えるようになってきている。</li> <li>福祉体験プログラムなどが増えてきており、小さい頃から学ぶ機会が増えた。</li> <li>月1回以上の訪問があるため、社協の仕事がどんなふうか、介護保険とは、といったことに市民の人が関心を持つようになった。</li> <li>ボランティア、NPOが増えてきており、市民のみなさんの活動が活発になってきている。</li> <li>以前より障害を持っていても外出できる社会になってきている。</li> <li>浮棧橋になって便利になった。(残りは答志のみ)</li> <li>バリアフリー等のハード面の整備がゆっくりながらも進みつつある。(駅のスロープ、学校のトイレ、歩道等)</li> <li>作る時に地元住民と一緒に歩いたり、考えてもらえるようになった。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>理解がない</li> <li>まちじゅうバリアだらけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自閉症、知的障害あるいは難病指定に関する講演や学習会が必要なのは？</li> <li>JRは国庫補助対象外だからで済ませるのではなく、(放置しておく)バリアの情報伝えるべき。</li> <li>JR側のバリア案内必要。バリアフリーマップ。</li> <li>どうしてもハード面改修で無理なところがある。</li> <li>離島の浮棧橋代えは進んだが、トイレ問題が課題。 坂手:浮き・トイレ今年度 菅島:浮き・トイレ 答志:浮き×・トイレ× 和具:浮き×・トイレ× 桃取:浮き・トイレ 神島:浮き・トイレ</li> </ul>
	2	『いつでも身近で受診できる』度	2.0 (2.35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医師の存在ありがたく平日はかかりやすいが、休日、夜間の対応と入院できないのが不安。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会等とのタイアップにより、夜間診療体制(輪番体制など)を確立する。</li> <li>市内の開業医に休日、夜間を当番で担当してもらう。</li> <li>通院介助などの有償ボランティアの活用。</li> <li>移動診療所。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも相談できる</li> <li>休日・夜間でも受診できる</li> <li>交通手段がなくても身近にサービスを受けるところがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>往診が必要な患者に地域の医師が診察してくれて心強い。</li> <li>鳥羽には総合病院がなく、医療面では不安面が多いが、日曜日に診療してくれる羽根根医院の存在はありがたい。</li> <li>地域住民と診療所の先生の間で信頼関係ができており、相談しやすい。</li> <li>離島の方が医者との親密度が高い。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>休日・夜間診察・入院できる病院が市外にしかない</li> <li>遠くまで行かないとサービスを受けられない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合病院や透析のできる場所がないと、障害者や高齢者達に安心して旅行を楽しめない。</li> <li>入院できるところがあれば</li> <li>長期医療設備機関がいる。入院が必要になる場合は非常に困る。特に高齢の場合は不自由に感じる。</li> <li>休日夜間にかかる病院に困る。個人病院で対応できるところがあればよいが。</li> </ul>
	3	『病院・サービスの場合の交通手段がある』度	2.5 (2.46)	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎サービスがあるがボランティアで制約もあり急なときに利用できない。公共交通は絶対的に不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとにボランティアグループを創っていく。(有償ボランティア)</li> <li>福祉循環バスができる。</li> <li>ボランティア貯金:ボランティアでポイントのため、将来そのポイントを使ってサービスを受ける。</li> <li>タウンモビリティの検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが行きやすい交通手段がある</li> <li>交通手段がない人はサービスを受けられない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移送サービスでの医療機関へのアプローチが容易になっている。</li> <li>健診の受診率が悪い。交通の便、場所の検討が必要。</li> <li>保健センターや武道館に行くのにも交通が不便である。</li> <li>離島...寝たきり老人が救急で病院に行きたい場合の診療所等整備や定期船を利用して搬送する問題や(急な時にすぐに船がない)病院に行ってもすぐに帰ることができなくてすごく困る。総合病院がないので、病院までの時間がかなりかかる。</li> <li>市内に透析できる医療機関がないので、通院がえらい。(特に交通弱者は、不本意な入院となることがある。)</li> </ul>
	4	『してほしいことができていよ』度 (保健・福祉サービス)	3.0 (2.90)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の満足感はあると思うが、利用が偏っていたり切り捨てられていたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に利用している人の声を聞く(満足度)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縁があり、必要としているサービスが受けられる</li> <li>本当に必要な人がサービス、補助金を受けられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが生まれると、保健婦の方が来てくれて、予防接種等の説明を詳しくしてくれる。乳幼児医療に対する補助がきちんとできているように思う。</li> <li>配食サービスは独り暮らし高齢者世帯に必要な人には喜ばれており、栄養確保の面で大いに役立っている。</li> <li>民生委員さんがかなり細かくニーズをキャッチしてくれている。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>しがらみがあり、既にサービスを受けている人だけが既得の権利として提供を受け続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑なニーズに対して相談できる場の充実が必要。</li> <li>組織支援の方法論やニーズの組み立てが必要...支援体制について</li> <li>障害児居宅介護等事業の委託金だけでは運営できない。</li> <li>支援費担当の職員からの連絡が密でない。障害者も理解できていない。</li> </ul>

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ 最悪のイメージ	良いところ 悪いところ
			点	採点理由			
重 要	5	『保健・医療・福祉がつながり相談ごと解決しやすい』度	3.0 (2.86)	・いくつかの相談窓口で対応はできているが、制度の面や窓口間のつながり(連携)は十分でない。	・保健・福祉の両方に詳しいスペシャリストを養成し配置する。 ・コンサルテーション: 各々の専門職からの説明(教示)があり、横のつながりができる。	・連携して対応している ・1回の相談で必要なところにたどり着ける ・各サービスの連携がとれていない ・窓口の情報がない ・たらい回し	・
	6	『家族の負担・不安解消』度	2.0 (2.45)	・入所施設が少なく不安がある。しかし、相談、支援の充実によって在宅でも負担を少なくすることが大切である。	・福祉総合相談所。 ・介護者支援サービスの充実(介護方法、情報交流の場、慰労事業など) ・小学校区(又は中学校区)で中心となる相談拠点がある。	・関係者の対応がよい          ・長期入所させたいけれど施設がない	・介護保険を利用することで、訪問介護・デイサービス・ショートステイを自宅で行える家もある。 ・デイサービスが閉じこもりがちな高齢者の生活に潤いを与えている。認知症の高齢者もデイサービスに来ることで脳の活性化が図られている。家族も助かる。 ・介護保険ができたことによって、ある程度は就労しながらも介護することが可能になった。 ・介護者の負担は軽減できている。 ・介護保険を利用することで家に閉じこもりがちであった人が、外に目を向けるようになった。外出するようになった。(公共交通機関がない、不便であるため、なかなか外出しない、できなかったものができるようになった) ・元気な老人が増えている。 ・リハビリテーションの施設や施策、特に訪問してのリハビリテーションが少ない。 ・訪問介護、訪問リハビリなど、市内に事業者がいないため利用しにくいものがある。
	7	『障害者の社会参加』度	2.5 (2.68)	・理解が進み、参加は徐々に増えてきているが、十分な社会参加とはいえない。	・障害にかかわらず行ける授産所が増える。 ・作品、作業が多くの市民にふれることで認められるのがいいと思う。 ・障害者受け入れ企業には何らかの得点を付与。 ・行事等では主催者側が参加の配慮をする。	・授産施設の産物を地産地消するなど地元の支援がある ・継続性なく、厳しい ・家族の負担が大きい ・障害者の引きこもり	・当事者、国体、障害者。国体がかなり以前から強くなってきている。 ・障害児が長期休暇(夏休みや春、冬休み)の際、居場所がない。 ・障害を持った方の一時預かりレスパイトケアの場所がもっと必要なのは、ガイドヘルパー養成の講座の緩和、津(三重県)で行われるものを各地域... ・市営住宅(障害者用)に単身者が入居できない。
	8	『災害要援護者(弱者)把握』度	2.0 (2.52)	・地域によっては集落単位での対応ができているが実際に対応できる体制かどうか問題。	・地区別マニュアルの作成。 ・災害要援護者の存在を知っている人が、それを伝えることができる。(身近に) ・講習を各地区でする。救急とか、車いすの押し方とか。 ・定期的な災害訓練をして地区での把握を進める。	・災害時に障害者・高齢者の居場所を把握して救助できる ・災害時に障害者・高齢者の居場所が分からず被害拡大	・
	9	『医療情報受発信』度	3.0 (2.50)	・発信する側の情報は少ないが充実はされてきている。受信する側(利用者)の意識も必要。	・医療機関ごとの年間予定表を作成し、全戸配布する。	・たくさんの医療情報がすぐ手に入る ・パソコンできない人にも伝わる   ・医療情報が手に入らない ・病院側から情報が提供されていない	・以前は自分で救急時に病院を探すことが必要だったが、休日診療所や消防署で教えてもらえるので助かる。 ・救急医療体制は良くなってきている。 ・救急隊員の対応が親切なので、安心して頼める。 ・医師との連携を取りやすいように、行政からも医師会に働きかけてほしい。 ・休日に開いている病院の情報が少ない。PR不足。 ・日曜日などに開いている病院などの情報発信が必要である。



		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ 最悪のイメージ	良いところ 悪いところ
			点	採点理由			
	10	『魅力のある健康づくりメニュー』度	3.0 (3.14)	・メニューは充実してきているがひだまりだけでなく地域でのサービスがあると良い。	・市民が希望するメニューや健康づくりに関するアイデアを募集する。 ・出前の健康教室を増やす。(健康御師を育てる) ・メニューの実戦に向けて地域に出向いた活動を粘り強くやっていく。	・サービスマニューがいろいろある  ・講演内容がおもしろくない	・各種メニューとして充実してきている。 ・健康づくりのメニューが増えて評価できる。 ・早期発見のための健康診断は多くある。 ・「自らの健康は自ら守る」ことの手助けが今までより非常によくなっている。 ・健康教室に参加している人からは評判がよい。 ・食改に参加してる人が楽しそう(仲間づくりにもなる) ・精神保健活動が実施されるようになった。(訪問やデイ、教室がある) ・食生活面の指導は行き届いている。 ・保健予防事業について、周知やPR、認知度が低い。工夫が必要である。 ・数多くある健康づくりのPRが不足しているのか、参加者が限られている。 ・計画とか取組内容をもっとPRして、市民に協力を呼びかけることが必要である。 ・教室を開くことが目的ではなく、健康の指標が改善されたかどうかが大変である。 ・鳥羽の特性に応じた取り組みをしていない。 ・食品取扱者の管理体制が分かりにくい。
	11	『子どもを預けて両親おたすけ』度	2.0 (2.42)	・保育サービスなどは充実してきているが、急なときに(救急など)預かってもらえる場がない。	・子育てサポーターが増え短期間(短時間)子どもを見てもらえる場が増える。 ・市役所内での保育。(困った時のみ)	・困った時にいつでも預かってもらえる ・障害を持っていてあずけられない ・預かってもらえるところがない	・受け入れ施設に子ども達を受け入れるプログラムと質の確保が必要である。それによって人を育てていく。 ・保険者が事業者のよき相談相手となってくれる。
	12	『従事者イキイキ仕事ができる』度	3.0 (2.43)	・市民の目からは生き生きしているように見える。ただし、困りごとを相談したり、計画してもらえたりといったことが必要。	・定期的な情報共有会みたいなものをつくる。	・従事者からの信頼 ・従事者のメンタル面の安心 ・従事者の仕事が評価されない	・市民対象、専門家の人を対象。2面での相談の場確保、PR。【再掲】 ・介護職の地位が低く、いい人材が育たない。ヘルパー(資格)をとってもやらない、辞めてしまう人も多い。 ・人材確保ができていない ・介護労働者(福祉関係全般だが)の報酬が低い、人材が流動的。身分保障もない? ・メンタル面で話を聞いてもらえる場があればいいと思う。 ・アドバイス等の(コンサル的)ものに対して無償(無償ボラ)が多い。当事者の意見を聴くことも=責任を負う。使えるものができる。障害者就業につながる。 条例で ・ボランティア、NPOの参画に対して行政と協働する場や話し合いの場を作ってほしい。 ・NPOへの補助的なものを考えてもらいたい。就業的なものにつながる。
	13	『国保納得できる』度	(2.52)			・適切に使われている ・安く、加入しやすい ・使途不明 ・高いので加入しにくい	
ふ つ う	14	『健康づくりサービスを受ける機会が身近にいっぱいある』度	(3.03)			・健康管理に関する講演・講習の機会が多くなってきている ・サービスを受けられる所が限られる	・健康教室、健康まつり等数多く計画されて、健康自己管理の機会は増してきている。 ・健診の受診率が悪い。交通の便、場所の検討が必要。【再掲】 ・元気な高齢者の集える場所の設置とそれに伴う場所の提供。
	15	『子どもが減ってもちゃんと対応する』度	(3.03)			・保育所等の統廃合が適切にされている ・保育所等の統廃合がなされず、少子化に対応していない	

上段:当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)  
下段:( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

(2) 「潤いと安心」(環境・安全分野)

区分	通し 番号	ものさしワード	[第4回 2005.04.24]		[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]
			通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ	
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ	
最 重 要	1	『浜辺も道もまちもゴミ落ちてない』度	2.5 (2.73)	・まだまだポイ捨て多い。	・4月からスタートしたゴミ拾いを発展させる。 ・「みんなで清掃日」をもっとPRすることで行動する人を増やす。 ・広い考えでは余りよいことではないと思いますが、営業の一環としてゴミを引き取ることはポイ捨てを少なくするのでは。(ガソリンスタンドなどのゴミ引き取りなど。ただしその先分別が必要) ・観光客のゴミ受付施設をつくる。 ・地元住民以外の啓発。 ・ポイ捨てしない標識を建てる。 ・放置ゴミをそのまましておかない。	・浜辺も道もまちもごみが落ちていない ・ポイ捨てできないまち ・浜辺に漂着のごみが散乱 ・道路脇や空き地がポイ捨てや放置されたごみであふれる	・市内の道路脇のポイ捨てゴミについては良くない。 ・観光客が放置したごみを誰も片づけけない。 ・パールロード周辺の清掃不十分。	
	2	『ごみ減量・リサイクル』度	4.0 (3.50)	・リサイクル分別が良くなった。	・環境教育やリサイクル教育施設をつくる。 ・生ゴミのリサイクルを市内全域で取り組み。 ・リサイクル当番を継続し、分別をより徹底を。 ・粘りと信念を持った職員を配置する。	・ごみの減量やリサイクルが進む  ・ごみがどんどん増える ・生ごみがポイ捨てされる	・ごみカレンダーに基づいたごみの出し方は色別になったので良くなった。 ・ごみカレンダーは4年前よりずいぶん見やすくなった。 ・ごみの分別については大変良くなった。市指定袋。 ・市民のみなさんの取り組みを積極的に評価されているのは素晴らしいと思う。 ・市指定のゴミ袋の使用により収集がよくなった。(分別) ・ゴミ処理は自治会において、当番制による分別収集が実施され軌道に乗ってきていて良い。今後も継続していくことが望ましい。 ・生ゴミのリサイクルが進んだ。 ・清港会も年々よくなってきた。(充実) ・市指定のごみ袋の中身が少し悪くても全部収集していく。面倒くさいから、業者。 ・ごみの減量化について伊勢志摩地方において鳥羽市のゴミ処理量が一番多いと聞いている。特に半分は事業系、半分は生活系。事業系のゴミ減量化に力を入れてほしい。 ・ゴミ回収を業者に委託しているようですが、市側が現状を良く理解しているか？ ・その他プラの分別が非常に悪い。 ・漁網等産廃物の処理が困難。 ・鳥羽2～3丁目付近の外国人のごみの分別が悪い。	
	3	『「まち」「景観」みんなで関心持ってかかわり』度	2.5 (2.73)	・市民をまきこんだまちづくりをもっと推進。	・市民参画プロジェクトをつくる。 ・参加しやすい会議の仕組み。 ・地元が動きましょ。参加しやすい体制をつくる。 ・計画をわかりやすく住民に周知し、意見箱を設置。	・住民の意見をとりいれて統一・調和のとれたまちづくりがなされている ・まちづくりに対して地元の人の関心が薄い	・中学生の「環境大使」、小学生の清掃センター見学等、子どもの頃から環境美化意識を持ってもらうことは非常に大切だと思う。 ・市民が条例を十分認識していない。 ・環境条例を市民に看板等でもっと知らせる。 ・本市の「鳥羽市民の～条例」の内容につき、検討すべき箇所をもっと知りたい。景観を改善するべき。中身を余り見られない。 ・ホームページには環境条例に加えてその概要、解説などを掲載されると、なおよいと思う。 ・鳥羽城跡は鳥羽駅を中心にした歴史、文化のまちづくりに住民参加の意識が低いように思う。 ・市民組織による植栽整備がされているが、後の管理ができていない。	
	4	『ムダにお金を使わずまちづくり統一・調和』度	2.5 (3.50)	・市民参画による手づくりのまちづくりが進んでいない。	・コスト意識と公開を進める。 ・市民全般の意見が聞ける手法を確立する。(公開、広報) ・条例をもっと市民に周知する。 ・市民参加による統一したビジョンをつくる。	・市民の手づくりでまち・景観をつくる ・ムダに多額のお金をかけて造られたまち・景観ばかりになる		

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ 最悪のイメージ	良いところ 悪いところ
			点	採点理由			
	5	『地震・津波 安全な場所 避難経路よく分かり』度	3.0 (2.73)	・周知が進みつつある。	・看板等の充実 ・「避難」看板等の充実。 ・避難経路案内板の設置。 ・看板や広報で周知する。 ・避難地図を住民に配布する。 ・これまでに配付された資料をよく見直す と結構書かれていることもあるので市民にわかりやすい資料づくりが必要。	・地震・津波時に危険な場所や避難場所が住民に周知される ・誰でもよく分かる避難地図が配布される ・地震・津波時に危険場所や避難場所が分からない ・避難地図の設置が進まない	・海拔表示がつけられた。 ・沿岸部地区に津波一時避難誘導看板がつけられているので、広報等で知らせると良い。 ・公園の避難地指定。「防災」イベントとの連携も有効 ・中央公園については、津波等の避難地としては適さない。 ・旅行者にもわかる避難地図がもっと市内にほしい。 ・津波、地震の避難路の明示を表示してほしい。
	6	『防犯対策充実』度	3.0 (2.49)	・パトロールが増えつつある。	・防犯灯の設置を多くする。 ・防犯委員会の地域巡回をする。 ・市民団体の育成。	・鳥羽警察が強化され警察官が増える ・鳥羽から警察署がなくなる位、充実	・防犯灯の設置が少ない。街路灯が少ない。市内の道路が全体的に暗い(夜)。 ・防犯灯の設置の不足。 ・団地開発時に業者に防犯灯設置を指導してほしい。
重要	7	『家庭もまちも浄化槽・下水道充実』度	2.0 (2.14)	・下水道、合併浄化槽の整備が進まない。	・補助と管理を充実させる。 ・下水道が無理であれば地域をしぼって単独 合併に変更する方に補助を多く出す。(妙慶川流域など) ・地区別の合併処理浄化槽が普及する。 ・個人浄化槽の検査済証を大きくして玄関等にはらせる。	・市内全戸に下水道または合併処理浄化槽が普及する ・個人管理の浄化槽の管理が不十分 ・下水道も合併処理浄化槽も普及が進まず、単独処理浄化槽が使用され続ける	・合併浄化槽の利用が多くなった。 ・浄化槽の法定検査の受検率が低い。 ・浄化槽の管理方法の仕組みがわかりにくい。保全センター、管理会社の位置づけ等パンフレット等での啓発が必要。 ・下水道の普及。下水道ができないのなら排水路整備が必要。(住環境の宅地と同じ)
	8	『住民の意見を取り入れた公園の整備』度	3.0 (2.72)	・住民意見が反映され向上しつつある。	・鳥羽市全体の公園について意見を求める。	・地域住民の意見をとりいれた公園が整備される ・地域住民の声が聞かれず公園の整備が進む	・住民参加のまちづくり、行政の取り組み・市民の意識。例えば、公園づくりに市民の声がどれだけ採り入れられるか。
	9	『自然が多く残っている』度	3.5 (3.18)	・自然はますます残っている。今後の開発は景観に配慮が必要。	・開発に対する条例の整備。 ・景観に配慮した計画かどうかのチェック体制づくり。 ・遊歩道の整備など自然を感じられる開発をする。	・多くの自然が残る ・まちなかの自然を大切に ・山々が土取場となって削られる	
	10	『学校・公共施設耐震』度	2.0 (2.31)	・耐震化にお金がかかり、なかなか進まない。	・耐震化の状況を公開する。 ・最低限の調査を進める。 ・耐震工事に合わせて大規模改修をしようとするので多額のお金を必要とするのであって耐震診断時の補強計画だけを行えば費用も少なく多くの学校を耐震にできる。 ・耐震に対する改修のみを早く。	・学校・公共施設の100%耐震化 ・学校・公共施設の耐震化が進まない	
	11	『自主防災組織充実』度	3.0 (3.00)	・組織の数は増えているが活動状況に地域差がある。	・各地域での勉強会の充実。 ・地域活動の活性化支援。(講師派遣) ・活発な活動例を広く紹介する。	・自主防災会の活動が活発 ・地域防災の勉強会が充実し多くの人が参加している ・地域の連携が悪く、自主防災組織が無くなる ・地域防災の勉強会に離島の人に参加できない	・自主防災会の設立が進んだ。(47町内会 42) ・一人暮らし老人宅に対する防火指導が実施されて良い。 ・地域の防災活動が活発になった。
ふつう	12	『処理施設充実』度	(2.39)			・ごみ、し尿処理場の建設がスムーズに進む ・ごみ、し尿処理場の計画が進まない	・し尿処理場がとりあえず決定した。 ・ごみ処理場の次の計画が決定しない。 ・し尿処理場の具体的な計画はまだか?(情報提供) ・意志決定に公開と協働のスタンスが欠けていた。
	13	『し尿処理場クリーンイメージ』度	(2.69)			・明るくクリーンなイメージのし尿処理場 ・悪臭がひどく、暗い雰囲気なし尿処理場	
	14	『海・川・水のキレイ』度	(1.84)			・妙慶川で水遊びができる ・妙慶川の水が汚れひどく臭う	・条例の排水基準がきびしいので(全国トップ)大変よくなった。

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ 最悪のイメージ	良いところ 悪いところ
			点	採点理由			
	15	『離島の不便な環境衛生の解決』度	(2.41)			<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬の不便さ等の離島問題が解決する</li> <li>離島問題が解決しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神島の火葬場までの道路改善をすべきだと思う。</li> <li>市全体で火葬化すべきである。</li> <li>離島の状況ない。(消防・防災)</li> </ul>
	16	『調和のとれた開発』度	(2.71)			<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの自然が残り調和のとれた開発が進む</li> <li>きちんとした開発がなされず手つかずの荒れた状態で放っておかれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妙慶川整備進まない。</li> </ul>
	17	『自然を残した景観』度	(2.67)			<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの中の自然が大切にされスッキリとする</li> <li>菅島の採石場のように緑化が進まない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹が少ない。緑花が少ない。</li> <li>風致地区の規制の見直しが十分に知らされていない。</li> <li>マリントウン地域の公園・緑地がわからない。</li> </ul>
	18	『住民にとっても観光客にとっても良い景観』度	(2.72)			<ul style="list-style-type: none"> <li>住民にとって良い景観と観光客にとって良い景観が共存する</li> <li>住民の意見が反映されないまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり交付金事業において、岩崎、錦町周辺の魅力的な景観を進めているようですが、空き店舗を利用してシャッターに文化人の説明、案内を書いたことはユニークで良い。時折観光客が足を止めて見ているのは効果がある。</li> <li>駅前周辺がすっきりした。</li> <li>岩崎駐車場の隅に潤いのある植栽コーナーも作ったようだが、樹木の育成が良くなく、人がベンチに腰掛けている様子が少ない。</li> <li>無断屋外広告物の撤去。</li> <li>いろんなところを見てくることがなく、たまたま自分の訪れたところが“イイ景観”と思い込んでいる人が多い。</li> <li>ペットの火葬により悪臭が発生し生活環境が悪化していると言うが、相談体制の充実を望む。</li> </ul>
	19	『広告物と電柱をなくしてまちなかスッキリ』度	(2.06)			<ul style="list-style-type: none"> <li>電線等の地下埋没が進む</li> <li>屋外広告物がみだらに建てられたり、貼られている</li> <li>電線等の地下埋没が進まない</li> </ul>	
	20	『快適で憩いの場となる、行きたくなる公園』度	(2.79)			<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民が憩える公園</li> <li>ベンチ、散歩道など本当に必要なものが備わった公園</li> <li>安全・安心な公園</li> <li>トイレ、ゴミ箱が設置され清潔な公園</li> <li>公園を整備しても利用者が少ない</li> <li>イベント時や市外の人だけが使う公園</li> <li>管理が不十分な小公園</li> <li>トイレ、ゴミ箱がなく、ゴミが散らかった公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐田浜公園の樹木の剪定、除草の緑地整備がされていて気持ちが良い。今後も定期的に続けてもらいたい。</li> <li>中央公園は十分整備されていて市民が利用している。</li> <li>池上地区での整備が始まった。</li> <li>市民の森はとても良い公園だと思います。他市の公園と比べて、相差地区の公園もきれいになった。</li> <li>小公園が少ない。(余り目立たない存在感)</li> <li>旧本町でのポケットパークが進まない。</li> <li>パールロードが無料になったのに公園整備がない。</li> <li>恐竜発見地のトイレがつかない。</li> <li>その他の公園について遊具等の整備がされていない。危険遊具の代わりの遊具がほしい。</li> </ul>
	21	『公園を手軽に自由に利用できる』度	(3.16)			<ul style="list-style-type: none"> <li>公園をいつでも気軽に、自由に利用できる</li> <li>公園を利用するのに許可や手続きが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動公園(中央公園)管理上難しいとは思いますが、もう少し子ども達が自由に使うことができないか。</li> </ul>
	22	『海に触れられて住民も観光客も楽しめる』度	(2.48)			<ul style="list-style-type: none"> <li>佐田浜、マリントウン公園で、住民も観光客も海に触れられて楽しめる</li> <li>佐田浜、マリントウン公園で、住民も観光客も海に触れられず楽しめない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海に触れる公園がない。(特に鳥羽中心部に)</li> </ul>
	23	『海辺のプロムナード広がり』度	(3.18)			<ul style="list-style-type: none"> <li>佐田浜海岸プロムナードに広がりがある</li> <li>佐田浜海岸プロムナードに広がりがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸プロムナード事業の工事が何年か続いていて見苦しかった。ようやく整備されどのような完成になるのか期待したい。</li> <li>海岸プロムナード事業は近く供用開始される。木の歩道がよい。</li> </ul>

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
	24	『マリンタウン計画広く市民意見取り入れ』度	(1.94)			・マリンタウン計画に広く意見が採り入れられ、広く市民に知られる ・マリンタウン計画について市民に知らされない	
	25	『まちづくり地元の人でもにぎわう』度	(2.55)			・地元の人になじみがあり、地元の人でにぎわうまちづくりが進む ・まちづくりに住民の意見が反映されない	
	26	『バリアフリーや防音など住みたくなる住宅』度	(2.26)			・市中心部に高齢者用の市営住宅ができる ・市営住宅の整備・更新が進まない ・住宅の防音対策が為されずうるさい	・リバーサイド住宅はバリアフリーや車イスの対応が来ている。 ・介護保険による住宅改修も年々進んでいる。 ・市営住宅の外観が汚い。
	27	『安価な住宅地多く供給され』度	(2.25)			・安価な住宅地が多く供給される ・住宅地が増えない	・市営住宅の整備だけでは定住しない。民間活力を入れて宅地を開発し、低価格で供給するためには、水道、排水、道路の整備が必要。 ・特優賃、高優賃等(住宅)についてPR不足。 ・市民満足度は低い。何故か？
	28	『津波のハザードマップ周知』度	(2.81)			・津波のハザードマップが配布される ・津波時の避難路等の明示がされていない	・土砂災害ハザードマップは非常に良かった。 ・津波の浸水ハザードマップの配布早く(H16完成) 遅い
	29	『防災無線よく聞こえ』度	(2.83)			・全戸に防災ラジオが置かれる ・防災無線の聞こえない場所がある	・防災無線の聞こえない場所がたくさんある。 ・消防・防災関係の機器が古い。どのように換えていくのが課題。
	30	『学校・地域で子ども達 安全に過ごせ』度	(3.24)			・学校や地域で子ども達が安全に過ごせる ・学校や地域で子ども達の安全対策が考えられていない	・河内町入口の信号機の設置ができてよかった。 ・中央分離帯の植栽が低くなった。見通しがよかった。 ・子ども達の学校での安全対策。考える必要が増えた。
	31	『消費生活気軽に相談できる』度	(2.50)			・消費生活について気軽に相談できる場所がある ・消費生活の相談場所がない	・市内にもオレオレ詐欺、振り込み詐欺。電話があった。 ・計量器の定期検査を受けない人がある。

上段：当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)  
下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

(3) 「快適と魅力」(都市基盤・生活環境分野)

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
最 重 要	1	『まちづくりのものさしがよく分かる』度	2.0 (2.17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体は活動しているが、集約されていないのが現状。</li> <li>イメージがバラバラ、わからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政主導で各団体や個人に今後やっていくまちづくりについての題材を与え統一した会議によって活動していく。</li> <li>各団体から代表者を出し意見等を検討する会を作る。</li> <li>各団体同士での集まる会を作りそれぞれの意見を取り入れたものをつくっては。</li> <li>各団体、町内会、市でまちづくりについての会をつくる。</li> <li>各種団体の意見を集約する。まず組織作りから。(市民団体も含めて市民みんな)</li> <li>参加団体の人は自分の会に戻ったらちゃんと報告をして自分の会の意見も聞いてくるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの全体的なビジョン、イメージが共有できている</li> <li>いろんな団体でバラバラに検討している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に社会資本整備にこそ、協働のスタンスが必要という視点が欠けていた。</li> <li>まちづくりが統一されていない。</li> <li>各団体がそれぞれにビジョン・イメージを持っているが、市として1つにまとまっていない。</li> <li>各種団体の意見が集約されていない!!</li> <li>住民の意見もバラバラでまとまらない。</li> <li>国土利用計画、ランドデザインが市民に分かりやすい形で提供されていない。</li> </ul>
	2	『まちなか景観まとまり』度	2.0 (2.41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部分ではいい所もあるが、そこだけ。</li> <li>バラバラ、統一されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥羽としての大きな1つのイメージをつくる。例えば、“海”とか“城下町”とかetc.</li> <li>町それぞれによってめざす所は違うと思いますが、ブロックごとに方向性を決め、市全体で見たときに統一されたまちのデザインを実行していく。</li> <li>観光の柱をつくる。九鬼水軍、鳥羽城があってそれに向かった流れがある。金をかけるのではなく、東側斜面の石積みなどを見せるようにする。城の縄張りを正確に再現。</li> <li>町内で自分のまちのイメージをつくる会をつくる。</li> <li>各種団体の意見を集約する。まず組織作りから。(市民団体も含めて市民みんな)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統一されたまちなみ</li> <li>みんなできったまちに人々が集まる</li> <li>バラバラでまとまりのないまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が空き地に花を植えているのは良い。駅前、道路等</li> <li>鳥羽駅の海側は、今風のまちとしてよくなったと思う。(プロムナード)</li> <li>市街地の空き家が多く、老朽化していて見苦しい。</li> <li>ところどころに見学する施設ができたが、それらをつなぐ通りが店に元気がない。</li> </ul>
	3	『みなとにぎわい』度	2.0 (2.08)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マリントウンに期待して賑わうためのものをつくるという発想がない。</li> <li>海沿いをなぜ駐車場にばかりするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光の魚市場をつくる。(大規模、統一感のある)</li> <li>マリントウン21計画の中から取り組めるものを少しずつでも実現させる。大きなものには期待していない。</li> <li>マリントウン21計画の見直しを市民一体となつてする。</li> <li>港に人が集まる施設をつくる。(観光客だけでなく市民も集まる)</li> <li>大きな船だけでなく、ヨット、小舟の泊まれる港にする。</li> <li>マリントウン21完成後のイベントの利用。</li> <li>神戸や横浜までは無理としても、店を含めた人が行きたくなる港をめざしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろんなお店の集まる港</li> <li>人があふれる港湾</li> <li>マリントウン21が計画倒れ</li> <li>港に行っても何もなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥羽マリントウン21計画が不明確で市民として不安。</li> </ul>

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
重要	4	『海・川のきれい』度	2.0 (2.50)	・個人の生活排水が問題。 ・小さい川が汚い。汚い川の水を海が薄めてくれている。 ・頑張っている企業は頑張っている。規制基準があるから。でも現状だから辛い目に。	・住民の雑排水をきれいにするようにする。(住民の意識) ・法規制をする。(条例制定:海、川をきれいにする保護条例とか) ・下水道整備をもっと進める。 ・長期的には下水道だと思うが。 ・下水道整備。	・合併浄化槽・下水道が普及している ・自然を大切にする意識の向上 ・漁獲量の減少 ・海の色が茶色になっている	・下水道整備が全然できていない。 ・妙慶川がきたない。
	5	『市営船経営見直し』度	1.5 (2.32)	・経営という点からは1点。 ・期待度大。	・行政側の定期船課と観光課の意見統一を図る。 ・離島生活者と観光客の両面から経営を見直す。 ・利用客を増やすよう考えることが必要 市が一体となる。 ・完全民営化すれば黒字は間違いのない。補助金なしで自由な航路。(経営面から考えれば) ・県道と位置づけ県営とする。 ・小直しでなくリストラクチャリングとして今から始めて航路を敷くといった潔さで考える。	・補助金がなくとも経営できる ・赤字経営で市財政の負担となっている	・定期船の職員の制服、帽子が動きやすそうで、また見た目も新鮮。 ・離島の棧橋、浮桟橋になって非常に良い。 ・定期船は民営化すべき。高速船、ミニフェリー等
	6	『市民が憩える場所がいっぱいある』度	3.0 (2.62)	・場所はそれなりにある。利用者の問題。	・憩える場所があっても利用されていないのが現状なので、再度市民の意見を聞く必要があるのでは？ ・場所はあるのもっと利用しやすい環境にする。 駐車場、便所とか。	・憩える場所がある ・いつでも集まれる場所 ・地元の人たちのつながりがない	
	7	『とばのニュースお知らせ』度	3.0 (2.90)	・結構頑張っている。	・広報とばと配布されるチラシ類が何枚もある。できるだけ統一する。紙がもったいない。 ・受信の次は返信と考えましょう。市民からの意見。 ・ケーブルテレビで行政情報を発信する。 ・“たくさん来て”という気持ちが伝わる広報とばづくりをする。	・テレビ、インターネット、携帯電話で行政情報が受信できる ・広報のみで行政情報を発信 ・ホームページが見にくく、ほとんど更新頻度も少ない	・ホームページは情報も豊富でわかりやすいと思う。
	8	『遅くなくても船で離島に行けちゃう』度	1.5 (2.09)	・桃取航路については評価できる。経営を考えると難しいが。 ・他の航路も頑張れよ。		・神島でも遅くなくても帰ってこられる ・夜間でも離島に行ける ・昼間しか離島に行けない	・定期船の便数が少ない。 ・離島間の便数、最終時間など差がありすぎる。
重要	9	『道路でこぼこ解消』度	3.0(2.97)	・少しずつ良くなっている。 ・細かい所ではこれから。		・運転しやすい ・雨が降ると水たまりだらけの道	・佐田浜橋の下の道路は、雨が降るといつも水たまりができる。 ・道路を新しくするなら、排水を考えてほしい。(ダイソーの前、水たまり) ・生活道路が舗装されていないのに、都市計画税を払っている。
	10	『バス運賃お値打ち』度	2.0 (2.30)	・割高。いるんなやり方もある。 ・白ナンバーでも福祉目的とかなら離島でもOK。	・現況の補助金に頼るのではなく、バス運行の用途変更をしたらいいのでは？ ・運行体系等コミュニティバスなど考えることや方法はある。	・電車並みの学割がある ・運賃が安い ・運賃が高く、人が乗らないため赤字だらけ	・コミュニティバスを考えてもよいのでは。循環バス。路線バスに助成するならば安くすむ。
ふつう	11	『どこでも自転車で安全に行き来できる』度	(2.33)			・いつでも散歩できる安心な歩道 ・自転車では危なく、車でしか買物に行けない	・安楽島線の通学路が整備され良くなった。 ・安楽島・大明東の歩道は安全面で、できて良かった。 ・小浜から鳥羽駅までの線路沿いの道を広く。(自転車通学生が非常に多い) ・草が伸びて道を狭くしている。 ・安楽島バス停から学校までの通学路が悪い。 ・白木～松尾までの道路は通学路になっているが、歩道がなく、自転車通学などは危険である。

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
	12	『橋でいつでも離島に行ける』度	(1.47)			<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢湾口道路や離島架橋が整備され、離島住民の生活環境がよくなった</li> <li>依然として整備の目処が立っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期船の便数が少ない。【再掲】</li> <li>離島間の便数、最終時間など差がありすぎる。【再掲】</li> <li>伊勢湾口道路は長期間にわたって取り組んでいるが、実現の可能性がないなら調査等もしない方がよい。</li> </ul>
	13	『まちなか車でお出かけしやすい』度	(2.11)			<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかに駐車場があるので、気軽に自動車で買い物に行ける</li> <li>まちなかに駐車場がないので、郊外店舗に買い物に行く</li> </ul>	
	14	『バスの利用しやすい』度	(2.12)			<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り換えがない</li> <li>ダイヤが増える</li> <li>車がなければ不便</li> <li>乗り継ぎ時間が長い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要とするところにバス停がない。</li> <li>路線バス事業について、可能な路線があれば低床式のバスを採用してほしい。</li> <li>目の不自由な方にとってのハローバスは使いやすくよいと聞いている。市のバスにも同様の形態を反映しては!?</li> </ul>
	15	『セントレア最終便でも鳥羽に帰れる』度	(2.12)			<ul style="list-style-type: none"> <li>最終便でも鳥羽に帰れる</li> <li>セントレアから直通で帰れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セントレアにリムジンバスが出ているのは良い。</li> <li>セントレア行きのリムジンバスはあまり知られていないため、PRをもっとすべき。</li> <li>セントレアへのアクセスとしてのリムジンバスが知られていない。</li> </ul>
	16	『市民が理解できる料金』度	(2.32)			<ul style="list-style-type: none"> <li>満足できる水道料金</li> <li>全国トップ10に入る高額水道料金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道料金を安くすべき。</li> <li>緑の村も高い。</li> <li>南勢水道を買っている。安定した供給断水がなくなった。</li> </ul>
	17	『遠隔地交信が進んでいる』度	(2.64)			<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットを通じた遠隔地交信が可能(教育や医療)</li> <li>情報交流のない閉鎖的なまち</li> </ul>	

上段:当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)

下段:( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点



(4) 「豊かな心と創造性」(教育・文化分野)

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
最 重 要	1	『みんな大切と思えるような制度・教育、啓発活動ができているか』度	2.5 (2.77)	・ソフト面の改善に向けて力を入れていってほしいから。 ・子ども、老人、「弱い立場」にいる人を大切にしていくという考え方を明文化し、そのための施策を打ち出す。 ・すぐに結果が出るものでないからねばり強く啓発活動を。 ・地道に啓発を継続しておこなっていく。 ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進める。	・子ども、老人、「弱い立場」にいる人を大切にしていくという考え方を明文化し、そのための施策を打ち出す。 ・すぐに結果が出るものでないからねばり強く啓発活動を。 ・地道に啓発を継続しておこなっていく。 ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進める。	・多様性の尊重できる土壌がある ・いろいろな場で女性が男性と同じように活躍できる ・障害児学級介助員の充実	・人権講演会増えた。 ・慣例に対し「おかしい」という人が増えている。(すぐに劇的な変化は望めないが、今があるのはこれまでの取り組みの成果) ・女性(母親)が参加しやすいように託児を設けるようになった。 ・障害児学級のある学校では、幼稚園、保育所との交流が多く、情報交換ができる。 ・洋式トイレなどバリアフリー・ユニバーサルデザイン化など設備が充実してきている。 ・市の行事への高齢者、障害者の参加が増えた。 ・5年間でユニバーサルデザイン化少しは進んだ。
	2	『子どもたちの学力・創造性を伸ばせる環境があるか』度 (ITなどの設備、教育の質)	2.5 (2.81)	・自然環境には恵まれているが、人的な問題(教師にゆとりがない、多様な対応ができない)が大きく、ハードをもっと生かしていくべきだから。 ・教育は「未来への先行投資」「将来の鳥羽を担う人材育成」という意識を明確に持ち、「お金」をかけることを惜しまない。 ・介助員や心の相談員のような立場の人を学校現場へ。 ・家庭の教育力を高める(生活を安定させる)民生委員のような立場の方を増やす。 ・子どもに関わってくれる人を増やし、みんなにゆとりを。 ・教員以外の人的配置を充実する。いろいろな人が教育の場に関われるようにする。 ・じゃまされることも受け入れる覚悟で地域の人に目をかけてもらう。 ・現場の教職員の具体的な声を聞く。それをもとに具体策を考える。	・一人ひとりに目を配るゆとりが教員にある ・パソコン授業の充実(一人一台)	・コンピュータでの授業が増加。 ・ネットを通じて人とのかかわりができた。テレビ会議。 ・心の相談員や介助員などの人的配置の設置 ・弘道小やかもめ幼。スクールバスの運用。 ・保護者が参加する行事が多いため、親同士の交流が多く、情報交換がしやすい。 ・統合したことにより、校区が広がり、いろいろな子どもや保護者と交流ができる。たくさんの目で保育できる。 ・8:30～14:00以外の保育もしてもらっている。 ・鏡浦地区では保育所が統合し、交流が増える。	
	3	『みんながコミュニティに関心もって活動している』度	3.5	・関心を持っている人は増えてきているが、地域による差がまだまだ	・各地区のコミュニティをつなぐ活動、催しを行う。	・地域の課題をみんなで話し合う ・ボランティアが盛んで日常的である	・(コンピュータの)故障が増加、アフターケアを十分考えた上での導入が必要。 ・基礎基本の学力。業者テストは行ったが、一人ひとりの個に応じた支援はこれからである。 ・教職員の研修、質の向上。一人ひとりの負担を軽減するための人員確保。 ・人材確保。学校業務の内容が多岐に渡り、精神的にも肉体的にもいっばいの現状がある。 ・学校規模。将来の児童数も見据え、校区を考えて行く必要があると感じる。 ・将来的な学校の統廃合計画がない、10年単位で考えていけないといけない。 ・他市町村に比べて教育費が少ないと思う。いろいろなものをPTA他より出させるのは問題ではないか? ・へき地校からの移動が困難。スクールバスの必要。 ・かもめ幼稚園は、100人規模であるのかかわらず、養護教諭がいらない。安全性が確保できない。 ・3歳児教室の一つにトイレがなく、保育しにくい。 ・共働きの家庭が増加し、短い時間の保育では、時代に合っていないように感じる。 ・園児数に対して教員数が少ないように感じる。 ・保育園の統合。地元お年寄りにとって子ども達の声が地区から消える寂しさがある。 ・保育園統合。通園距離が長くなる。交通手段を使っでの送迎が必要。

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ 最悪のイメージ	良いところ 悪いところ
			点	採点理由			
			(2.81)	大きいから。	・各課が連携する(例えば教育委員会、総務、市民など横断的に)	・地域課題に無関心	
	4	『地域と学校が連携している』度	4.0 (3.14)	・連携は進んできていると思う。でも地域や風土の違いがあり地域差があるから。(5点にはできない)	・定期的な地域と学校が話し合いの場を持つ。 ・連携しているメリットの例としていない事例を紹介する。 ・具体的にどういう取り組みをしているのか一般市民にもPRしていく。	・地域の講師を招いての学習機会がある ・総合学習が充実している ・学校が独善的である ・子ども達が自分達のまちのことを知らない	・地域の人たちの協力、ゲストティーチャーが増えた。気軽に来てもらえる。 ・少年探偵団の取り組みよい。
	5	『日常的に文化に触れる機会がたくさんあるか』度	2.0 (2.64)	・文化に触れる機会は小規模だがアル。大規模なものは施設的に各地域では無理なため、もっとPRや周知をすべきだから。	・粘りとセンスのある職員を配置する。 ・文化施設を充実させればそれに伴い文化に触れる機会が増える。 ・ホール利用規制の見直しをして薄利多売の精神で。 ・文化会館で自主事業を行う。 ・市文大ホールでコンサートや演劇を年に1回ずつ行う。 ・観光イベントが市民にも価値のあることをPRする。(市民が楽しめないものを観光客が楽しめるか) ・生涯学習講座の種類を増やす。	・文化施設が充実している ・生涯学習講座の講師が充実しており、選択肢がたくさんある  ・文化施設が不足している、あるいは利用しにくい ・生涯学習講座内容が市民生活に生かせるものでない	・九鬼嘉隆 生誕 400 年記念バスの取り組みはよかった。 ・文化会館・中央公民館、活用しやすくよい(拠点となる)、使用時間(もっと延ばしてほしいが...)それでも1時間延長してもらえるようになった。 ・図書館の開館時間が一部延長されたことは good! 利用者側の発想。毎日開けることが次のステップだ ・図書館の時間延長はとてありがたいです。 ・利用時間が拡大されて便利になった。 ・生涯学習講座が開催されている。(地域によるばらつきはあるが...) ・少年探偵団の取り組みよい。【再掲】 ・多くの講座があり、利用者が選択できる。 ・婦人会連絡協議会には、会館がないので文化会館 中央公民館をよく利用する。 ・城山公園はきれいになった。 ・ガイドボランティア 日和山整備 ・きらり工房。地域での取り組み(これも文化) 形になった。 ・魚見小屋、海女小屋などの整備  ・芸術文化に直接触れる機会が少ない。 ・直接芸術文化に触れるためには、もっと施設面を変えていかないと無理では... ・南鳥羽公民館の活用そんなに盛んでない。やはりその地域における「人材」が大切。 ・マリン文学:小説部門 H16 をもって終了。今後は小中学生「海の香りのする詩」を募集。
重要	6	『ボランティアやっている人同士がつながりをもてるようにしているか?』度	2.0 (2.39)	・つながりがない。つくりにくい。そのための核となる組織、施設が必要だから。	・ボランティア活動の紹介、窓口の一本化。 ・ボランティア団体の何か連絡窓口をつくる。 ・市民活動センターをつくる。 ・ボランティア団体間の交流のシステムづくりを行う。	・ボランティアやNPOが連携して活動できる仕組みがある  ・団体間をつなぐシステムがなく、バラバラに活動している	・ガイドボランティアに参加しているが、常にリーダーがしっかりしている ・ボランティアに参加しようとする意識、機会が増えてきた。
	7	『鳥羽の歴史文化掘り起こして紹介できているか』度	3.8 (3.23)	・よく掘り起こされ、ガイドボランティアにより紹介され、関心のある人たちの関わりも増えてきている。これからより一層多くの人に関わってほしい。(観光畑での活用は特に進んでおりガイドセンターの役割は非常に評価できるがより幅広い展開を望む)	・歴史調査員を多く雇う。 ・鳥羽の歴史文化についてまとめた小冊子をつくり、市民に配布する。 ・まちづくり情報バンクのようなものをつくり、とりあえずそこに聞けば某かの情報がわかるという仕組みをつくる。 ・鳥羽の歴史文化やウォーキングコースを利用したイベント開催。	・ガイドセンターのボランティアによる歴史文化の発掘・紹介  ・鳥羽の歴史文化を地元住民もよく知らない	・ガイドボランティアに参加しているが、常にリーダーがしっかりしている ・町の中に歴史関係の場所を記した掲示物が増えた。わかりやすくなった。
	8	『伝統文化の後継者が育っているか』度	3.0 (2.50)	・各地区に伝統文化があり受け継がれよく取り組まれているが後継者の問題が難しいから。	・後継者を育てるための指導者づくりに先ず取り組む。 ・後継者になる若者が鳥羽市に残りたい、住みたいと思う環境整備(雇用、住宅、福祉etc)	・伝統芸能が残っており、受け継がれている ・後継者が育成されていない ・備品購入、保存など継承のための取り組みに対するサポートがない	・後継者・保存団体の育成が課題。 ・「能」保存会がありながら金銭面、人材面から上演不可。保存会がしっかりしていない。 ・伝統芸能を継承していく上で助成金のお願い! ・能面等:PR不足。能舞台:ささくれている。子ども達が受け継いでいける環境づくり必要。組織:うまく機能していない。市からの財政援助がなくても3町で協力していけば手はある。
	9	『地域の人々が安心・安全に学校が利用できる』度	2.0	・地震対策が不十分だから。	・耐震工事の予算をたくさんつける。	・地域の施設として地域住民が利用する	・5年間でユニバーサルデザイン化少しは進んだ。【再掲】

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
			(2.54)			・耐震工事がなされておらず、行事や災害時避難所として使うのに不安がある	・まだまだ障害を持つ人に配慮した、そういう人たちが外に出やすい施設づくり大切。【再掲】 ・ユニバーサルデザインやバリアフリーの施設が普及・充実すれば、障害のある方が外に出てふれあいが増える。【再掲】
	10	『国際観光文化都市にふさわしい国際交流しているかな?』度	2.5 (2.29)	・国際交流はしているが、市民の受け入れ態勢が不十分だから。	・市の中に推進部を確立する。(国際交流推進課) ・国際交流協会の活動等の紹介や、募集等の周知をはかる。 ・小、中、高校で外国語教育を充実させ、子どもの時から国際化になじませる。 ・市の職員に外国人を採用する。	・生涯学習講座、学校教育で外国語、外国文化教育がなされている ・市民が外国語を話せない ・西洋方面としか交流できていない	・サンタバーバラとの交流よい。子ども達にとってはよい機会が増えた。 ・人と関わる機会が増えた(サンタバーバラなど)子ども達にとってはよいが、まだまだ大人の受け入れ体制ができていない。

上段：当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)

下段：( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

(5) 「活力と魅力」(産業・経済分野)

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
最 重 要	1	『農林漁業と観光ミックス』度	2.5 (2.59)	・観光と漁業は連携したイベントなどを実施しており盛り上がりつつあるが、システムが未確立である。 ・農業に動きがない。	・農林、漁業、観光業者が一堂に会して協議する場を設けて議論する。 ・朝市を各離島で行う。 ・物産展などを現状より増やし内外のPRに力を入れ流通の仕組みも図っていく。 ・農林漁業を観光客が体験できるように。 ・特産品のコンセプトづくりとブランド化を行い観光面と連携して全国発信する。 ・観光を兼ねた総合市場があればよい。	・農林漁業が観光資源化している ・農林漁業を観光分野にまちづくり生かしていない	・答志島一周シーカヤックのように観光と漁業が一体となって盛り上げる例が出てきた。 ・観光業って「農業」なのよ。育てて来なかった(狩りだと思っているのでは)。 ・「イチゴ農園」などの施設がない。(お客様からの問い合わせがよくあります)
	2	『観光客に対する市民親切』度	3.5 (2.92)	・一部の観光事業者の従業員教育に課題が残る。	・地域別の観光「豆単」を作る。 ・May I help you?運動。(どんな人でも) ・観光業に携わる人をターゲットとする研修機会を大幅に設ける。 ・市民が誇れるまちづくりに力を入れ市民自らも鳥羽のまちを愛する。	・観光客が困っていたらすぐ声をかける ・市民が胸を張って案内する ・観光客に聞かれても無視する	・商工観光的にガイドボランティアの活動に対する評価が高い。観光的にこれからのまちづくりに期待できる。 ・商観による「外国人接客セミナー」の開催!
	3	『鳥羽へまた行っちゃう』度	2.5 (2.51)	・いろいろな観光客のニーズに合致していき、決定的な魅力に欠けている。(何をとって普通)	・自然、伝統文化を残し、継承していく。 ・季節ごとの呼び物づくり。(食、花、文化、祭、イベント) ・鳥羽の特長を生かした「売り」を作り人情で魅力をプラス。 ・鳥羽市全体の観光キャッチコピーを作る。	・癒しの快適空間である ・鳥羽にまた来たいと思う ・無感動のまちである ・二度と来るかと思う	・鳥羽へ来る人たちが何を望んでいるかを勘違いしている観光業者が相変わらず多い。 ・本当に売れる企画を立てられなかった。 ・観光客に対して感動を与えるような魅力ある商業整備がされていない。 ・本当に観光客の幸せをつくってこられなかった。
	4	『まちのお宝活用』度	2.0 (2.37)	・市内に潜在するお宝は市民自体の認識がないため活用されていない。身近なお宝に向かおうとしない。	・鳥羽の「お宝」を発掘して徹底的に検討を行い、PR事業を行う。 ・市民自らがお宝に気付く。(例えばアンケートを内外で取ってみる) ・生活様式を見つめ直し、他との比較を試みる。 ・さらなる資源のデータベース化。まちのお宝情報を地元の方々にデータベース化し、市民全員に広く紹介する。	・まちのお宝が目につくように展示されている ・真の国際観光文化都市 ・手つかずの荒れたまち ・非国際的、非文化的。ウソの観光都市	・歴史、文化、地元の環境PRするようなまちづくりが進みつつある。 ・人工の施設が整備されてきたことにより、本来の景観が損なわれてきている。 ・外人向けのサインが整備されていない。 ・姉妹都市との交流も観光資源であるので、交流を紹介できる常設のコーナーまたは施設がほしい。
	5	『地域と協調、地域とつながる商売』度	2.0 (2.24)	・個々に努力しているものの連携が弱い。	・鳥羽市のグランドデザインの整備 ・地域ごとの特色デザインし整備を行う。(コンセプトをつくる) ・地元産を強調するブランド開発と戦略的な方向付けも必要。 ・各地域に行列のできる店が一つ以上できる。 ・住民にあった販売方法を検討する。	・地域全体がコーディネートされている(地域優先) ・好き勝手な商売(自社優先)	
重 要	6	『職場の近くで安く快適に住める』度	2.0 (2.05)	・住宅環境の悪さに加えて生活関連施設も充実していないため。	・市営住宅(集合住宅の整備)または民間建設者への支援を行い、居住空間の整備をする。(建設貯金) ・市の土地を安く分譲して販売する。残存している市有地の現況調査を進め、建設業者に安価に売却し、住宅環境整備を促進する。 ・市営住宅のバリエーションを増やして条件緩和する。 ・離島に市営住宅の建設。 ・現状とニーズ把握、可能な部分での改善。	・働く人が鳥羽に住める ・アパートが少なく、周辺地域より家賃が高い ・ショッピング、病院がない	・若者の定住化を図る生活環境の整備が不十分。結婚すると伊勢方面に住む方も多い。

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
ふ っ う	7	『若者の地元就職』度	1.5 (1.71)	・魅力のある仕事が少ないため。	・親が自分の仕事に誇りを持って子ども 地元に残ろうと考える。 ・親の世代も後継者育成など情熱を 注ぐ。 ・トップセールスを行い、企業誘致に 努める。	・若者が地元で働ける ・若者がよそに出ていく	・若者の定住化を図る生活環境の整備が不十分。結婚すると伊勢方面 に住む方も多い。【再掲】 ・労働力の確保について高齢化が進み、各業種とも若手の地元離れ が目立つが... 親からして地元を離れて都会の企業に向かわせる 傾向がある。
	8	『元気な企業がいっぱい』度	2.0 (1.97)	・景気の低迷により地元企業に活 力がない。また、地価が高いこと などを受けて企業誘致が図れて いない。	・トップセールスにて観光業をバックア ップして元気な企業を育成 全ての 企業に行き渡るように。 ・市民自らも地元企業を応援する。地 元企業の優先利用とそれに応える企 業体質をつくる。 ・松尾工業団地の利活用を再検討する。	・全国にPRできる企業がたくさんある ・税金を払わない企業がある	
	9	『地元食材の活用と多彩な料理メニュー』度	3.0 (2.61)	・業者によって地元食材の活用度 にバラツキがある。	・地元食材を使うPR及び認定証のよ うなものをつくる。 ・市内業者対象で地元食材を使った 料理大会を実施する。(TV放送) ・企画、PRできっかけづくり、ブランド づくり。 ・昔の食生活を見直し、料理メニュー の開発をする。 ・ホテルの売りは何か、旅館の売りは 何か、民宿の売りは何か、「棲み分 け」重要。	・鳥羽市で獲れた食材のみを活用 ・各料理に調理方法や産地説明があ る ・新鮮・多様な料理メニュー ・他市町村の食材ばかりを活用 ・できあがりの料理がならんでいる ・新鮮さがなく、ありきたりのメニューし かない	・鳥羽の地域性を生かした取り組み(漁協蓄用センター、ヤマトタチバナ など)は素晴らしい。もっと発掘してほしい。 ・おいしい魚介類を安く手に入れられる施設ができた。 ・潮騒市とかパールビル等で地元の生産品を安く提供できる場をつくっ た。
	10	『観光情報が手に入れやすい』度	3.5 (3.24)	・ポータルサイトがないものの観光 関係者がホームページなどで情 報発信を行っているため。	・各観光スポット、施設、支所等にお ける情報の共有化とPR誌等の配 布、発信。 ・現状で足りない面をチェックし新たな 魅力も追加していく。 ・観光情報(鳥羽市)のポータルサイト 化を行う。	・情報が簡単に手に入れられる ・情報を手に入れにくい ・施設が宣伝されていない	
	11	『市民の観光PR』度	(2.82)			・観光業者と市民との協働 ・観光客を無視	・恐竜化石について市民の盛り上がりは見られない。
	12	『安心して離島観光できる』度	(2.61)			・島内の行き届いた道路、トイレなどの 施設整備 ・離島の整備は漁港だけ	・答志島一周シーカヤックのように観光と漁業が一体となって盛り上げる 例が出てきた。【再掲】 ・離島の海水浴場が整備された ・漁港の整備については進展が見られる。 ・漁港が整備された。 ・漁港に対してかなりの補助がある。 ・答志・和具地区の定期船の待合所が整備されていない。
	13	『漁業とレジャーの融合』度	(2.29)			・産業とレジャーなど多様な港の活用 ・産業のためだけの海	・答志島一周シーカヤックのように観光と漁業が一体となって盛り上げる 例が出てきた。【再掲】
	14	『宿泊施設のバリアフリー』度	(2.60)			・車椅子でも一人で施設内を移動で きる ・おんぶされながら部屋まで移動する	
	15	『遊歩道を歩きたくなる』度	(2.70)			・ウォーキング客であふれる遊歩道 ・荒れた無人の遊歩道	・遊歩道が整備され、歩く催しが増え、人も多くなった。 ・神島の遊歩道などが整備された。
	16	『(鳥羽らしい)しおさいの香りがする土産(特産品)』度	(2.58)			・鳥羽産の食材を使ったおいしい土 産物 ・鳥羽の土産は市外で作られている	

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
	17	『市内をグルっとめぐれる』度	(2.49)			・離島も本土も市内全体に足を運ぶ ・施設見学だけで帰る	・歴史、文化、地元の環境PRするようなまちづくりが進みつつある。【再掲】 ・神島の遊歩道などが整備された。【再掲】 ・市街地を歩くとまちの停滞ぶりが目に付くので対策を立てる必要がある。 ・施設整備が遅れている。例:セントレアに対しプロムナードやマリントウン事業など ・外人向けのサインが整備されていない。【再掲】
	18	『安価な宿泊料金やいろんな宿泊料金設定を選べる』度	(2.77)			・料理がうまく、料金が安い宿 ・多様な宿泊ニーズに応えられるプラン設定 ・平日以外のぼったくり宿 ・同じようなプラン設定	
	19	『何があってもすぐ再生』度	(2.14)			・どんな事態にも対応可能な危機管理 ・災害が起きたら一気につぶれる	
	20	『協働して市民に還元できている』度	(2.37)			・NPO、ボランティアと行政の協働で充実したサービスを提供できる ・NPO、ボランティアと協働できず、行政の負担になり、やる気もない	・商工観光的にガイドボランティアの活動に対する評価が高い。観光的にこれからのまちづくりに期待できる。【再掲】 ・人材育成について市役所内での若手職員対象の研修がワークショップ的に進められるようになった。 ・観光のまちという意識のための企画と「協働」のスタンスできていない。 ・NPO・ボランティアとの企画からの協働のスタンスがない。 ・地道な取り組みがヘタクソ。 ・鳥羽では実行しない人たちが実行委員会を組んでいる。 ・観光協会「おいしいハイキング」に市農水漁協の協力を！（お客さんに地域の産物を販売してもらえたら） ・財政難！お金のかかるイベントを見直して！鳥羽の地域性を生かした継続のある無理のないものにできたら。
	21	『買い物で市内で済ませられる』度	(1.89)			・買い物で市内ですべてできる ・買い物は他市へ行かないといけない	・ハローの送迎バスによりお年寄りの方達が買い物しやすくなった。 ・早朝、深夜近くまで営業しているマーケットストアができた。
	22	『商店街に足を運ぶ』度	(1.70)			・商店街にユニークな店があり、にぎわっている ・商店街が閑散としている	・鳥羽駅周辺の整備が多少進んだ。 ・朝市、きらりのような地元をPRできるような場づくりができた。 駅周辺としてはいまいち ・中心市街地の商店街の衰退。 ・市街地を歩くとまちの停滞ぶりが目に付くので対策を立てる必要がある。【再掲】
	23	『工場経営元気』度	(1.94)			・特殊技術や独自製品がある ・企業誘致や新企業の参画により、工場経営が元気になる ・企業誘致ができず、市内の産業が衰退していく	・工業について企業誘致の推進がされているかどうか疑問である。 誘致先企業へのアプローチと優遇制度など ・企業誘致について税・地代等の思い切った低減を行うような施策が実施されていないように思う。 ・工業団地が未分譲のまま、他用途含めた活用を。 ・企業が元気がないため、労働条件が悪くなってきている。
	24	『雇用につながっている』度	(1.71)			・企業誘致や新企業による雇用が増える ・企業誘致ができず、工業の雇用が少ない	・雇用対策について働き口が少ない。 雇用の安定、企業経営の支援が行われていない。不十分。
	25	『企業支援が鳥羽市にとってプラスになっている』度	(1.96)			・鳥羽市にプラスになる企業に支援している ・プラス、マイナスにかかわらず企業に支援している	

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
	26	『鳥羽市の元気』度	(2.11)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人も会社も活発で生き生きしている</li> <li>・住むところも働くところもない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部国際空港へ直通で行けるバスが運行した。(フェリー) 商工産業の発展に期待できる。</li> <li>・鳥羽市の人口が減少傾向が続いている中で、市の具体的な施策・政策がなされていない気がする。企業に元気がなくなる。</li> <li>・国・県などの補助事業や機関委任事務のような施策が目立つが、独自施策が少ない。</li> <li>・市民と行政、農林水産課と商工観光課のつながりが今一つ。</li> <li>・観光面において、商観、企画それぞれががんばっていただいているが、もっとお互いの課のつながりを深めていただきたい。</li> <li>・人口増加にプラスになる取り組みがなされていないように思います。</li> <li>・水産業について、毎年かなりの漁港整備や魚礁整備に費やしているが、はたしてそれに見合う結果が出ているのか？農業、工業への支援に比べて。</li> <li>・企業の促進や新産業創出の取り組みが必要。</li> <li>・各業種へ向けて補助ができるような財政・組織体制ができていない。</li> <li>・水産については予算があるのに！</li> <li>・台風・長雨、天変地異に左右される業態が多い。バランス良い業界を育てなければ。</li> <li>・地元企業の活用を。価格チェックは必要だが基本的に地元の徹底を。</li> </ul>
	27	『安心安全な魚介が食べられる』度	(2.93)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・害のない石けんで環境を守る</li> <li>・きれいな青い海</li> <li>・合成洗剤で漁場を汚染</li> <li>・漁場を汚染が進み、魚介類が獲れない。食べられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の普及率が悪い。</li> <li>・合成洗剤追放については以前よりPRが少ないのではないかと？</li> <li>・合成洗剤の使用しない取り組み、普及していない。</li> </ul>
	28	『農業が続けられる』度	(2.37)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品のある農業</li> <li>・農道、ほ場がよく整備された、花のある農地</li> <li>・農業で生活できない農家</li> <li>・荒廃地が目立つ田園地帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮騒市とかパールビル等で地元の生産品を安く提供できる場をつくった。【再掲】</li> <li>・発酵堆肥の利用が進められている。</li> <li>・環境保全型農業の取り組み(発酵堆肥)が進められた。</li> <li>・地元の農産物を直売するようなイベントがあるので、さらにレベルUPしてほしい。</li> <li>・農業基盤(ほ場整備)などの効果が十分ではない。</li> <li>・土地の問題、後継ぎの問題を含め、専業農家の展望はきびしい。</li> <li>・農業経営がなり立たなくなっている状況。市が負担するお金に見合う推進ができていない。</li> <li>・悪条件の中で環境保全、景観保全のために最善を尽くして取り組むべきだ。</li> <li>・「加茂牛」が消費拡大されていない。</li> <li>・後継者の育成として経営支援が行われていないと思う。</li> <li>・ほ場整備等、農業基盤整備の効果が上がっていない。</li> <li>・大型機械の導入による合理的な農業ができる基盤づくりができていない。</li> <li>・「イチゴ農園」などの施設がない。(お客様からの問い合わせがよくあります)【再掲】</li> <li>・用水路の整備が遅れている。</li> <li>・販売価格の保証される流通体制が確立されていないように思う。</li> </ul>

上段:当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)  
下段:( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

(6) 「計画と推進」(行財政分野)

区分	通し 番号	ものさしワード	[第4回 2005.04.24]		[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]		[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
			点	採点理由	アイデア	最高のイメージ 最悪のイメージ		良いところ 悪いところ		
最 重 要	1	『事業の優先度ハッキリ』度	2.0 (2.41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見をいかす場がない。</li> <li>よくない事は一致。</li> <li>パブ・コメ生かす仕組み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセスに関わる機会</li> <li>事業決定までのプロセスにおいても情報開示をする必要あり。(開示できる部分についてはHPで毎日更新とか広報でのお知らせなど)</li> <li>総合計画をしっかりと共同で作成、市民で共有する。誰もがこの「ものさし」を使っているようになればハッキリする。</li> <li>事業を決定する「いきさつ」が知りたいのではなく「ビジョン」に照らし合わせ決めべきだ。</li> <li>プロセスマネジメント 重要性で濃淡を付ける。</li> <li>政策決定に至るどこかで市民(有識者)の意見を聞く機会を設ける。</li> <li>情報開示と検証(3年プログラム公開、市民委員、パブリックコメント制の全面实施)</li> <li>優先の基準が市民から見てわからない</li> <li>各施策における計画等策定プロセスへの市民参加機会の確保。</li> <li>市民の意見を聞く機会を作ってはどうか。</li> <li>事業評価をする。</li> <li>市民参加の会議を多く開催し意見を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策形成への市民参加</li> <li>市民がかかわる機会がない</li> <li>上意下達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策形成過程への意見反映</li> <li>変えられることと、変えられないことを区別していない。</li> </ul>			
	2	『市の意志決定オープン』度 (『市政に気軽に意見が言える』度、『市民と市の風通し良好』度、『腹を割って話し合える(市民と)』度)	2.0 (2.32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセスのオープン度は1。</li> <li>結果のオープンはしている。</li> <li>いきさつはわかって何でかわからない。</li> <li>市の方から積極的に情報を流せ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が振り回される</li> <li>今何を行政がやろうとしているかを開示する事。わかりやすい方法でHP、広報「行政は今」。</li> <li>協働型会議を市の正式な会議として位置づける仕組み。</li> <li>市政モニター制度の活用。</li> <li>協働型意志決定に目的を絞った「行政改革」を進める。(ワーキング立ち上げ)</li> <li>積極開示制度(庁議 市長地域懇 対職員交流 審議会)</li> <li>(決定全般で)意志決定過程への市民参加機会の確保。</li> <li>市政モニター、HP</li> <li>(決定後)市の方から広報やWebサイトを通じて積極的に過程を明らかにする。</li> <li>広報、HPにこんな事をやっています報告をする。</li> <li>鳥羽市のホームページを利用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策決定過程がオープンとなっている</li> <li>移動市長室がある</li> <li>住民ニーズに柔軟に対応</li> <li>窓口が一本化されている</li> <li>市の施策がどのように決まったのか分からない</li> <li>市民が振り回される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さいまちゆえかもしれないが、寄せられた一つひとつの意見に真摯に対応してくれる。</li> <li>市民の知る権利、行政の説明責任。意識の前進。</li> <li>「開かれた市政」各種審議会の公開性不確立</li> <li>制度への硬直的対応。(本旨の未理解)</li> <li>情報公開(提供)で、行政の悩みを市民と共有するというスタンスが重要。そして、一緒に考えるべき。</li> <li>「情報公開の件数は多くても、幅広く活用されているのか?」</li> <li>「情報公開を武器にする」という感覚がない。</li> <li>(例)庁舎が分散しているため、転入したら4つの庁舎をハシゴしなければならない。市民 環境 教委 水道</li> <li>「節度ある」の基準とは</li> <li>外郭団体の負担金支出見直しは弱い。</li> <li>補助金の一律カットが評価の対象か?</li> </ul>			
	3	『市民ビジョン共有合意』度	1.5 (2.28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンはあるが合意がなかった。バラバラ。これからだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラウンドテーブル、まちづくりセンター</li> <li>市全体ビジョン「笑顔と感動～」を宣伝する。市民にもっと広める。</li> <li>横断的(テーマ別)WSを常に開催している。</li> <li>「場所」話をする拠点づくり。</li> <li>まちづくりセンター機能を担う仕組みを育てる「仕組み」づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要施策の住民合意ができていない</li> <li>一人ひとりが鳥羽のいいところに気が付いていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥羽のことを真剣に考えられる人材育成。市職員、市議会議員、住民グループ、住民組織 自分のことだけ考えている。</li> </ul>			



		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
	4	『庁内市内だれでも情報アクセス』度 (『鳥羽が毎日わかる』度、『HP いきいきどンドン注目便利』度)	2.5 (2.62)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの一定の効果はある。</li> <li>・HPだけでいいのか。</li> <li>・誰に見て欲しい？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流情報張り出す(HP、市政モニター)</li> <li>・人が集まる場所に毎日更新されたHPのコピーを張る。(図書館、ひだまり、港湾センター、ジャスコ、駅)</li> <li>・巡回機能、コンシェルジュ。</li> <li>・情報広場を市役所に設ける。出前トークで各地を巡業する。</li> <li>・市政モニター活用。(市政モニターからプロガー育成、もっとHPをつなげる、リンク)</li> <li>・広告代理店のアイデア(編集)誰に届けたいかでメディアを選ぶ。</li> <li>・HP各課ページおもしろく豊かに(スタッフ、仕事ぶり、声)</li> <li>・週間広報とば。</li> <li>・窓口対話制をもっとアピール。</li> <li>・FAQページの作成。</li> <li>・市民交流の場所を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憩いの交流スペースがある</li> <li>・市役所に来なくても申請書が手に入る</li> <li>・ホームページがただの掲示板にとどまっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のHPの充実</li> <li>・広報とば 市民と文化伝統がよく登場</li> <li>・広報紙はかなり充実している。(各賞の受賞など)</li> <li>・現行HPは雑然と情報が羅列されており、欲しい情報にうまくとり着けない。</li> <li>・広報とば 月半ば号の後退化 双方向化 市HP 行革推進計画がない。</li> <li>・双方向で(HP)市民の声を生かすしくみが無い。ブログの時代。</li> <li>・HPでのフレキシブルな情報発信にぶい。</li> <li>・HPに頼りすぎ？電子通以外で見ると市民の情報共有はどうか？やっぱケーブルテレビか!?</li> <li>・パソコン世代が少ないことが考慮されていない。</li> <li>・ケーブルテレビ補助金のみで活用されていない。</li> </ul>
	5	『協働のまちづくりを進める制度進展』度 (『市民参加機会いきいき確保』度、『まちづくり市民参加(意識)』度)	1.5 (2.22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度はなかった。今からスタート。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のコーディネーター設置。条例、市民力アップ型。</li> <li>・「協働」のまちづくり条例を「協働」でつくる。</li> <li>・「協働」のハートとスキルアップ講座を常にやる。(市民及び職員)</li> <li>・市民塾で「協働」のできる責任ある市民育成。</li> <li>・民間のNPOとの協働コーディネーターを設置する。</li> <li>・市の役割の「市民まかせ」制。</li> <li>・人材の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の条例ができています</li> <li>・議論できる場の雰囲気がある</li> <li>・行き当たりばったりで不安定アリバイづくり</li> <li>・当たり障りのない場しかない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べたら協働は進んだ。</li> <li>・行政への市民参加広がった。 プロテクトネイチャーの例 鳥羽小建設の懇話会</li> <li>・地球塾など市民参加型の事業の地域からの発信が盛ん。</li> <li>・直接参加(協働)と間接参加(議会)との整合性がねじれたまま。</li> <li>・市民参加、WS、協働には「技術」が必要だということが、まだわかってきていない。</li> <li>・市民参加から協働へ。新しい仕組みにおよび腰すぎた。</li> <li>・市民参加のための「しくみ」を育てることを怠っている。</li> <li>・住民発意の事業を受けとめるしくみが無い。</li> <li>・市民参加の根本は、成果をどう反映するかである。その市民との「約束」を十分に果たした上で「参加」を呼び掛けているがなかった。</li> <li>・市民参加についての具体的な書き込みが不足している。(どうしてしくみが必要か、どういう場面で参加が必要か、など)</li> <li>・どういった場合に、どういった市民参加のしくみが必要か？参加、参画、協働の区分けは必要。</li> <li>・市民の意見を聞いたと既成事実をつくるような会議体が多い。本質的に改善すべきだと思う。</li> <li>・“市政モニター”の存在意義？何の目的で活用しようとするかが不明確。</li> <li>・市民モニターがあまり機能していない。市民の声を聞く 生かす、へ</li> <li>・直接市民の声を聞く場を持っていない。</li> <li>・市政報告会等、市民の意見を聞く場が多く確保されているとは言えない。</li> </ul>
	6	『行財政運営が家計みたいに手に取るようにわかる』度	1.0 (2.29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する機会を下さい。</li> <li>・広報とばなどで旅話、グラフ、家計簿になぞらえてプレゼン。</li> <li>・もっと面白みのある読んでみたい内容に工夫して提供する。</li> <li>・専門用語を使わない、絵解きで伝える「仕組み」広告代理店の発想。</li> <li>・「市の仕事」パンフレット発行(例にせこ町)</li> <li>・Web上に財政シミュレーターを公開する。(実際に自分で財政を動かしてみる事で、より理解が深まるのでは)</li> <li>・わからないものの立場で作って欲しい。</li> <li>・わかりやすい内容で例をあげて説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計のようにわかりやすい</li> <li>・市民には行財政運営がわかりにくい</li> <li>・やみくもに切りつめるだけの財政再建団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税の使途。詳しい説明を。(ニセコの例)</li> <li>・財政状況を公開しているのにも関わらず、税金の使われ方を知りたいという声が全体的に多いのは、市民の理解不足である。それを理解してもらうためにもっとよい方法を考える必要がある。</li> <li>・財政の問題を財政だけで解決しようとしている。(公開と共有の不足)</li> <li>・財政状況、市税滞納状況や財政難の要因といった情報をきちんと住民と共有しているか？ みんなで共有して議論!!</li> <li>・合理化・効率化の目的 市民サービスの向上</li> <li>・行財政効率化がサービスの質の低下をもたらしていないか？(行政による事業の優先順位のつけ方の妥当性あるか？)</li> <li>・財源問題を企業誘致の観点からもとらえる。</li> <li>・販売価格には敏感でなければならないが、市の発注は地元を徹底してほしい。市内産業育成の視点を！</li> </ul>

		[第4回 2005.04.24]	[第5回 2005.06.05]		[第3回 2005.03.26]	[第1回 2005.02.19] [第2回 2005.02.27]	
区分	通し 番号	ものさしワード	通信簿		アイデア	最高のイメージ	良いところ
			点	採点理由		最悪のイメージ	悪いところ
重要	7	『職員と市民のセントレアのようなハブ機能』度	2.0 (2.52)	・職員が怖がっているのでは...	地域担当ホームドクター、出前トーク ・各団体の代表者にはその団体に報告し、意見を聞いてから次の会議に出るようにしてもらう。その人しか知らないということのないよう。 ・職員による出前トークを実施する。 ・市民、職員でざっばらんミーティングを開催。部課とは別に「地域担当」職員を決める。 ・みなとまつりの機会を活用してハブ的職員育成。 ・地域分担制。(ホームドクター職員) ・市民対応研修の実施。 ・職員がワークショップなどに積極的に参加していく。 ・「なんでも窓口」の設置。(たらい回しにしない)	・ホームドクターのように対話ができる職員 ・話を聞くだけの秘密主義	
	8	『職員・市民関係なくきずなが進化していく』度	2.0 (2.52)	・一部の人だけではないか。 ・いろんな事の成果として絆深まる。	今の「この」WSが良い。 ・NPO、市民と一緒に実務者WS(できればオープン)をやる習慣をつける。 ・今方式の常用化。	・参加協働のチャンスが常にあり、それを通じて人と人のきずなが強まっている ・参加協働のチャンスがほとんどなく、人とのつながりが希薄	・NPOとの協働事業で行政の方との理解と経験が深まった。
	9	『職員いきいき評価され』度	1.0 (2.21)	・仕組み自体がない。	NPO勝手に表彰 ・個人評価よりその成し遂げた事業等について市民に点数付けしてもらう。 ・NPOが職員さんを勝手にほめてしまおうイベント。 ・「今年度私が一番嬉しかった市、市職の仕事」 ・人事決定過程の透明化。	・職員を褒めるしくみがある  ・けなす仕組みばかり使っている	・なぜ定年を待たずして多くの人がやめるのか。 ・熱心な人(職員)から先にやめていく。 ・職員研修「派遣」「専門的」充実と言えるか ・各課の職員の能力を引き出す上で成果主義的な考えを盛り込めないか。税金は自分のお金であるという考えをして欲しい。
	10	『NPO がいきづく』度	2.5 (2.42)	・少ないがNPOが育ってきた。	市民活動センター ・市政モニターを市民職にして、NPOの生まれる土台づくり。 ・市民活動センターを生み出す「仕組み」づくり。 ・行政として支援する仕組み。 ・NPOとして他を受け入れる努力。 ・NPOを支援する制度を充実させる。 ・活動内容をPRしていく必要あり。	・NPOがどんどん生まれて市に関わる  ・無駄だとNPOが活動をやめていく	・市民参加の事業について、現場の職員さんは受け入れる意識は育ちつつある。 ・なぜかしらNPOが育つ素地がある。 ・NPO法人が育たない環境にある。テーマ性を持つ市民がいつらく、言いにくい(意見)。 ・直接市民参加と間接(議会)との整合性
	11	『自治会とNPO一緒にパートナー』度	1.5 (2.22)	・まだまだこれから。	・双方の情報提供をしよう。 ・双方ともに受け入れる雰囲気づくり(防災を切り口に)	・市、自治会、NPOとの連携がとれている ・自治会とNPOが知らん顔	・NPOなどの団体が増えた。  ・自治会偏重でNPOとの協働などといった視点が弱い。 ・市民参加=自治会というコンセプトが旧いままである。 ・行政の事務の一端を担うための自治会? ・“自治会”論が必要。市が「育成」はおかしい。
	12	『小さなコミュニティきめ細かくいきいき』度	2.0 (2.43)		・コミュニティモデル地区をつくってみる。 ・いろんなことが成果を出した結果としてこうなるのでは?	・身近なテーマは小さなコミュニティで取り組む ・地域でのきめ細やかな取り組みがない	
	ふつう	13	『注目のまち』度	(2.26)		・先進自治体として調査研究の対象となる ・問題いっぱい悪い話ばかり ・ワイドショーものばかり	・独自性を出しやすい(特区申請のしやすい)地理風土がある。 ・「地方分権」鳥羽市の独自性は何か?ちゃんと気づいて生かしているか?
14		『広域でWSやフォーラムがいつも開かれる』度	(2.27)		・広域で大きなまちづくりのテーマでWSやフォーラムが開かれている ・となりまちのことだと関心もなく、参加の機会もない	・広域での行政について知られていないのではない? ・当初目標「保健・福祉・環境」など個々の自治体では対応しきれない問題に対応すること、としているのに実績を見ると少ない。 ・広域行政でかえって生じる問題がある。それらをカバーできるしくみはあるか? 例:広域行政でちゃんと住民参加ができるのか?	

上段:当該グループで検討した結果の点(最重要、重要のみ採点、0.5刻み)  
下段:( )内は、市民委員およびワーキンググループメンバーの自己採点の平均点

### 鳥羽市まちづくり提言市民会議をふりかえって

第四次鳥羽市総合計画（H13年度～H22年度）は、平成13年度に策定され、その前期基本計画（H13年度～H17年度）が平成17年度終了するため、後期基本計画（H18年度～H22年）の策定に向けて、平成16年度及び平成17年度の2カ年で策定作業が進められております。

現在、策定作業は進捗中のなかで、平成16年度基礎調査として、市民アンケート調査及び市職員による前期基本計画における各施策の内部評価が実施されました。

また、特に市民と行政との協働による「鳥羽市まちづくり提言市民会議」（以下、「提言市民会議」という。）は、初めての協働作業であり、これまでにない取り組みの一つで、この仕組みが今後の本市のまちづくりに少なからず変革を与えていくものと考えます。

本提言市民会議は、市民を対象とする市民公募委員や各種団体からの推薦による市民委員などの市民代表委員と行政から各所属を代表とする職員や公募職員で構成されました。さらに、アドバイザーとして、本市と友好協力協定を締結している三重大学から鹿嶋助教授をはじめとする6人の先生方にもご尽力をいただき、約50名体制でこれまでの5年間の評価をふりかえりつつ、今後の鳥羽市をどのように良くしていくかを提言書として取りまとめました。

提言書として取りまとめていく過程においては、「幸せとふれあい」「潤いと安心」など6分野に分かれ、市民と行政職員がワークショップ形式により討議を重ねてきました。

このワークショップでは、NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会から自主的に提供された協働型会議のノウハウを基に、同法人からのアドバイスを生かし、提言市民会議の開催前には、市職員の代表が中心となって、本番の提言市民会議にそなえた実践をイメージするワークショップを実施してきました。

また市民委員の中では、委員の所属する社会福祉協議会や鳥羽商工会議所青年部のように、設定した「ものさし」について通信簿づくりを行ったり、本市の「良いところ」「悪いところ」の抽出など、本提言市民会議の開催に先立って自主的な作業が行われました。市民委員は、提言市民会議での役割という垣根を越え、また市職員も職員の立場を超えて、一市民の立場で参画してきたことは大変有意義であったと言えます。

この提言書は、本年2月から6月までの5カ月間の中で全5回の提言市民会議を開催するという時間制約の中、前述のような取り組みのもとにまとめられました。提言書の中では、分野別にまちの通信簿を採点しており、「最重要」「重要」「ふつう」の3段階でランク付けを行い、その点数を上げるためのアイデアをみんなで出しました。

そこで、これら点数を上げるために、今後策定される後期基本計画の中においては、優先的に本提言内容を盛り込みつつ、その実現に向けて取り組まれますよう、強く要請いたします。

平成17年7月15日

「鳥羽市まちづくり提言市民会議」